古今和歌六帖

下四

特別
4
5301
2

岡澤寄附

昭和二七年三月一七日 購求

ハ4 0501 巻2

古今和歌六帖第四

戀

夢

かくばかり
なるみ河
はるの思

祝

別

ぬさ
なるこ

古歴二

同歴一　後人不知

同

同

題風集

同

古歴二　後人不知

茂方

同

万四

恋

秋歴　後人不知

秋歴一　大伴百世万同

古歴　恋ゝ者如山陰ノ草ノ下ニ生シ

も歴同

ヤリテ

万四

古恋二 読人不知

万十七

同四

後恋六 素性 伊勢集不載

万四

同 家持

世中乃くるしきものに[illegible] 坂上乃大嬢

[illegible]

[illegible]

[illegible] 伊勢

秋のよの千よを一よになすらへてやちよしねはやあく時のあらん

[illegible] 女

[illegible]

同廿一

素性

後恋二 [illegible]

素性

古恋二 [illegible]

同恋四 読人不知

万十一

同人丸集

同 同

廿二 [illegible]

同十二

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 人麿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同四 筆者 藤原五位佐多芳武 留室也

武命いもとんかまあるやいや日あるみいてひまとそ
かさ北部女
なくて紅の衣とあてなくて
なとそ北部女

同

同

同 家持

同 同

古歌集 家持

万四

同

家持

恋ひつつ人の人とみまくほしけんよ
恋やまあ

同

同

同

同

同十二

同十一

同

同

古歌集 巻之

巻之集

已上四首 巻之集

よ行もいてくあまてひなまいの紅むいのやと
紅かやくとまわきて人間君よりわたるとの
あひてしらも陸やへあるいとの紅やいとの君紅
人となくみ里みあるんとあてや君ら恋とんと
なくとみるやすかくてのみ恋やまてん月日と

貫之 武本

紅恋ハとあ山ふ紅のまとしまあま
ちらしの帰紅あ迷て君紅のみ恋るわねハつと思
雨やまあ山乃あ雲ちあてやと紅をる君ていて
何ひまれ山ハ紅はいて陸のいくけて人てらひま

かさ北部女 武本

同四 墓帝
[illegible]
氏留室出

以下四首 未考

百十
同十一
同
同
同四

同二

市恵二
家

同恵二
伊一物

市恵二

月恵二
漢人不知

同恵二

同恋三 読人不知

うはたまのやみのうつゝはさたかなる夢にいくらもまさらさりけり

同恋二 家

[illegible]

同恋之 読人不知 伊勢物語

君やこし我やゆきけんおもほえす夢かうつゝかねてかさめてか

拾遺 同

かきくらす心のやみにまよひにき夢うつゝとは世人さためよ

百十一

[illegible]

同

[illegible]

同

[illegible]

古恋三 小町 小町集

夢路にハ足もやすめすかよへともうつゝにひとめ見しことハあらす

同

かきりなき思ひのまゝによるもこん夢路をさへに人はとかめし

同恋一 読人不知

[illegible]

未考

[illegible]

同

[illegible]

古恋五

唐も夢にみしかハちかゝりきおもはぬ中そはるけかりける

兼芸法師

同物名 滋蔭

[illegible]

未考

[illegible]

家　後悉二　古今　同　後悉七 読人不知　後悉四 家集　古今二 躬恒 家集不載

ねぬるよの夢ハ波まもあらすふ立帰りても忘れさらなん　貫之

夢ちにもふけるよハ何とて人ハあひみさらなん（これほとのよかり）

たのむへき君か心もしらなくにあはれなる夢をみつるかな（比こと）

忘れねといひしにかなふ君なれハとはぬもうれしおもふものから

まとろまぬかへのうちにもいりにけり夢のかよひちをとこそいへ（後悉一云うつゝにも夢にもひとのよるしみえねハあはすかへれる　及香相似不審）

いせ

君こふと夢にみえけん時しもそあふとハなしにみをしける

君をのみおもひねにねし夢なれハわか心からみつるなりけり　貫之

家・

夢ならてまたもあふへき君ならハねられぬいをもなけかさらまし（後悉一云）

夢にたに見ゆとハみえしあさなあさなわかおもかけにはつるみなれハ（風雅集戀下 夢中戀之 継ともにとふらひのせい なくハ又かたちにそ見えける）

あふことのなき世にもふる君ゆゑにおもひねのまたかなしきを（こと）

うつゝね・

命をしみてそ人ハいくかたのゝ夢のいかりけり（後悉雑中 武部右大臣）

おもかけ

夢のうちにあふとみえつるかひもなくなけきそまされいとゝかなしき（梶 方）

なかなかに

めくりあはむそらのゆくへもしらなくにわかれの人ハいかにかもせむ

いせの大輔郎女（うきた女郎）

我せこか雲ゐのそらをみる日にはなかめのはれすあさゆふのそら（カイ 二月五）

伊勢物語　万九　未考 万葉不載　是章出

夫木
あきさあてゆくる月かけやとれいし女郎花のこ[illegible]見えつつ
かさの女郎

万三 彩十恋一 笠女郎
みちのへのをかやかしたにけして女郎しらしとゆゑに[illegible]
古今国歌加名氏乃方もれ秋よし時とこひつゝそれも夕され[illegible]
しはかなくも[illegible]

夫木
おもひのかけてゆくよそ[illegible]女郎わらひてなかしか[illegible]

万十一
同
むかしのなにもおもふにかくしなれはとあかしれ女郎にゆふ[illegible]

家
こゝ[illegible]

古今恋四 伊勢 伊勢集
はるのさかりのはなは[illegible]女郎花のとまるもはらん
[illegible]

伊勢集
女郎花[illegible]
伊勢
以上伊勢集

万四 笠女郎
万五 日比陽
おもひてのちはあやなくまたよそにみるたけさせ
夕くれは物思ひまさるみしひとのことゝひしかは女郎花して
此作者笠女郎初乃独此哥ニ依テ[illegible]万葉[illegible]
かさの女郎 家持に
言問為形今極[illegible]

同家持
かくしつゝ女郎花のおもかけはいはゝせん人かなしくて
うちそふね

夫木
うつろはぬはなはけさ人に見えつゝみちにおつる
[illegible]

家
拾遺恋 読人不知
をみなへしにほふあたりにまねかれてこゝろのかはるさか
にぞ折 於

同 古恋二
うつろはぬ花はありける女郎花にほふあきの野ゝそへて

夫木
うちそへのはなやさかん野辺のあきをゆきて
なみたのゆき

古今恋三 伊勢物語
同
業平
古今恋二 家
躬恒集
業平
家集不載 古今恋一 詠人不知
業平

つれ〳〵のなかめにまさる涙河袖のみひちてあふよしもなし

とし　なりひら

後古今恋一 業平朝臣
右後撰業平朝臣かはりて作者を定められ…

あさみこそ袖はひつらめ涙河身さへなかるときかはたのまむ

涙河…なかれ…

新拾遺恋一 躬恒

新勅撰恋三 詠人不知

涙河いかなる水かなかるらん…

いせ

はやくより君か…涙なかれは…

涙河…

君かため…涙…

身をせきて袖に…涙河…人も…思

…袖の…涙…

おきまち

…なる涙を袖に…

貫之

…涙河…

かくては涙の河の…

古今　伊勢集

はかなくて君にこひつる涙にはうつれとしやと淀つつ
うきてみえし時は涙のまなこに落ちけり

よしかん

古今
うきながら世をすごす心やまかはるらむ世の中のうさ
世の中のうけれはつきせぬ雑の人のつましき

同
いとせめてふかくぬれしこの世をなげきての涙はさきだ

古今
人やは何ともあまたまねき心まだ忍ばる
ふるきいはつまなるをもはかなしたのむ人を恨みる

古恋五　躬恒　躬恒集不載
はかなけれ世乃まかほきて人をまたまれれ
新しくわが袖にもこそあれ泣きかはやうつる世にかな
ふるくまたる

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　きよかた

古雑下
ちはやふる神の斎垣にはふ葛もまつしかへつくあまた
わすれじの心はとはれぬ袖にみえつる
かしこまる心はあなたの心にはなるとは忍さよ
あひみてはむつましくこそなりまさるさへまさる

古今
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　君家

古恋五　友則　友則集
花はあらめどいつかはあらんはかなしとてうち
のどかなる春のかけともにもいかにやせ中
なれていはせむ世のならひかはもやせ中

古今
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　伊勢

古恋五　読人不知
おもひきやわが袖をこそいつまでもあはれと
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　みつね

後恋五　家

古歴二

後撰四

古歴五

同上

夫木集

後撰二

家

同

後撰一 伊勢

同歴五 寺院倉

伊勢集

夫木

夫木 二五 不相思恋七

祈のこすかすかの名をもなほてとこせる年しるけれ
ども なくなくすてる花の浦の波 武平
うれしかりしかとあとなかめんなるまてとうれしき
雲くもりなけるあさけやいとそてのうらにうつる
むら濃なる海乃はまかけにたちとまりのなくやんとはらうん
おくて出けるのたまけりかもの 武平
おしかりぬ命けるまてもこそ
いはの
いつかくらかけるつくもてみてん
いつくよりはるはるなんさまのけ
人よりはなれてさけるとしのうたなの
なにはの
はるのむまくとのうまくれてあるとこと
いるとはてんとまきのやもとのあるとの人や縁る
いつもとあまてなやなたはたはたのあるとれたるく
いとそれてれやい僧て秋のあるとのトはれ

長五首共色

家集不載
書陵

古新体
後人不知

長五首五同

同

同後人不知
新恒集

書陵

後撰二 唐岸集
古別後人不知

同五四 同

同 同
新恒集

家

今はとて人のかもとをやすらはまこなつの花
げん
みつね

五月雨のみつまやあやめまこもやすらはまこのはなれ
昔賀河よりはつかの法あいなまやさつきみちのくにあめ
はつかなし

てへまとてとしのかくれあるいひとてあつさ
ふるさと
ちはみんのかはくまにたかくしてこころもとか
いちやち
なりへまとしのこころのこいつるれいかいつるのすす
ぬとどりみんをどりてやわらはみんの袖とふね
ありやは

ちはみんをとりたかもとまーはとひのあるあ
やハ

紙ひとをこいつるやいとんあるこいつて
詠みてのこるやたいとてあそんの袖さかりあ
人心今はかからんと思ひあれみてこのはなれ
ちとせ
人はいとこいつるいておるやよんいてしーん
景八後
えそとてあとこいうん今あい紙やこそんや間あや
朗詠
いはそのなはるあるとはたまかは
いはそのなはるあるとはたまかは
今文よりたまとる紙ってのまん
於三 後人不知
うつるまこうまんあるあ言行こわうまこ
はこいゆき
歳八 こと乱
あのうとて為て紙とまこうる紙とい相あ
おるー人

家

同

詞四首主所

古新体　之方

同雑上　後人不知

夏風集不載

あのこゝろして秋をすん命にはとうめんやはとぶらん
なつかしき秋月日をへてまいはいまゆるす成れとそ
あさふかぬなけのとそといのるこゝろあんよかくる袖を
ふる秋をまちなれとも秋とは袖にかゝるものかはみくる
あふれてみるものをハいつ何行よとへてみるとそん
とゝろかつくるわのくるめあるはをとゝろ滅るものもの
世乃津たいふくるはをつの人は作るふしん
いかなのとゝはのとそ秋やはとはこゝろ袖を
おもうを武本
あのこゝろあんをおもうやまひるゝ行くゝまのゆへて秋
おもかせ

家

古新体

同恋二友則

友則集

後恋之中撰集不載

信明集載之

同上

万十六

同

同

月一佑暗

同十一

対ハとてはこゝろとゝまつあふいとうるとゝくく
今ゝをなかうしゝ家のあるはをはかうるよ
いつふふるとあつはいとかんとん
なつ
源のさねあきそ武本
心とあとあのこゝろ命さつのうのたん
秋やとれのつよまやのこゝみまくらけん
夕はくよはちとや思へよはくるやのかくらんとゝとゝくる
まれのつとれのとやつうんとゝとゝつもこ
んもま後

万上

同作者未詳

同

同

万五 恠雖未不達意歟

臣上七首同上

赤彦

同

万四

赤彦

臣上九首赤彦

赤彦

後撰下 友則 友則集 貫之
百五五 友則 友則集
古今雑体 読人不知
百十一
宗四首 貫之
貫之

許しくなれそめへまで嫁山の夜ふけとも西ら庵よりあるねさ
月夜の空にて浮みて池月とならまで行くもよみきて
（考友則集 後撰 同集 貫之 友則集 下同 出 貫之詩 又同）
ほのぼのと明けゆく月のうつろへば面影のこるあやなしく
すきいそもてはける梅かの香をもとめきて折ねぬ
（そ万 十寸 枝 さなとう万 そ右 きも）
人のそとはれもせよとて君ならでたれにか見せむ梅の花
（わらは紅す 味わふとて 色をも香をも知る人ぞ知る）
梅の花見にこそ来つれ鶯のひとくひとくといとひしもをる
ちかやゆるたくもの梅のまへゆきて香をしつる時ぞふる花
ちかやかつ梅もぞまちらん色にのみ花のさかりはたのまるれ
あかやま
うれしくいふぞかもおもるまでほにいでて花のちる
（十五帖形見秋 紅そうかいを残れ 考友則つらおそ人知らず）
こつね

是貞集出
同
伊勢物語 有此句

花すすき咲いかばほに出て嫁風吹くのこるもとの花
秋の野に　いつゆかし
あさみどりけきもよりは咲く梅の花の枝をや折りて枝まつ
女郎花こなたかなたよ　紀友則
春の夜の闇はあやなしみなひと本のねは立てて
人はいさ心もしらずそよふるさと
ふるさとの花はむかしの香ににほひつつ
（おもかげ）
さくらばなちりぬる風のなごりには水なき空に波ぞたちける
（いろいろいろつきてれもあしかりのけせの人れそ　行ひ物語 思ふこと人を思ふをらし）
こぞのこの池や浮ひて残れるかをねとも
かきみもてなかるにまかせんやと
くもよわのかたぶく風たちあらし
（秋思篇 吹き風にもたなてむとも いかでかも人のまま）

紀貫之

女房紀之書てはしめとも
紀乃ふかふる雪ハとまるとも
衣袖の流よ莫もとゝめとも
ましと鏡ぬる絶けハうつるとも
流刑の紅葉ふ秋を河あめとも
かゝるやそかくるの火ハいふまとも
みとつもかくてみまつねわまつとも
まかつるみ紙いふすてらとも
志傾まけとも紀みをめるハかつとも
年乃うちに月をあかめとも

松をかゝらみつね

古賀
同 素性
同
同 素性
古賀 紀惟岳

わた河海ハむかしこよりてすこし人をつるも
みつのをとけての後ハわすれつとも
てらほへてよ此滝ハきえつゝも
いはほとなりて
わか君ハちよにましませさゝれ石のいはほとなりて苔のむすまて
八千代よ白
ふしておもひおきてかそふる万代ハ神そしるらんわか君のため
つるかめもちとせの後ハしらなくにあかぬ心にまかせはてゝん
在原のときはる
いにしへにありきあらすハしらねとも千とせのためし君にはしめん
続古今賀 読人不知
第五句 すちの山ほ清水岩なれや清すくしてきくし 流れて
神なるみの山此上する岩清水乃いはひてそくむ万代のこゑ
かめの尾の山の岩ねをとめておつる瀧乃白玉千世のかすかも

同　法人不知

家

伊勢集不載　見え集有り

伊勢集

家

同　後賀法不知

家

[illegible]

かのこゆうこのむらとめ君ゆえ[illegible]

いせ

松をそ見え集　新古賀　伊勢

山風に[illegible]

拾賀　伊勢

[illegible]

北家

[illegible]

百[illegible]

[illegible]

おなし人

同

同

同

家集不載

家集不載

伊勢集

[illegible]

おなし人

[illegible]

おなし人

[illegible]

おなし人

[illegible]

いせ

新古賀　伊勢

[illegible]

家

家集不載

同

夏之集

家

夏之集不載
古賀素性集

夏之集不載
素性集

夏之集

家

新宮の松はまとをる帰雁
なくこえ　貫之　武存志本

ゆきかへるかりのつばさにうるるまの
せるくさをいとはなさるる　源養父

ど秋をくるる松のもとへ
ひぐらしはとをとをる君をとをとをる
貫之

美代の松をとをとをる
いそのかみ
ふるをとをとをる世の
ことをとをすまんとおもへば
ふるゆき

ど秋をくるる花橘を鄭公
とをとをつくちをとをとをる
秋をとをる松をとをとをる
君をとをとをる世をとをとをる

於賀者文同物

いつくにか松をとをとをるの
まのをとをとをるひぐらしの
なくこえ　伊勢

あををるかをとをとをる
ちをとをとをるをとをとをる

いくをとをとをるをとをとをる
ちをとをとをるをとをとをる

いつをとをとをるをとをとをる
をとをとをるをとをとをる

大井河をとをとをる
をとをとをるをとをとをる

いかてをとをとをる
をとをとをるをとをとをる

持をとをとをる
をとをとをるをとをとをる

於賀者無同

山陰の菊はをとをとをる
をとをとをるをとをとをる

川於賀下同
家

能因集

家集不載

家集

家集不載

家

家集不載

家集不載

同

法華集

家集

同

同

同

やしろの神とかんなづきの女房の君のいとなみ侍りしに

貫之

かりきて君らにせよと蔦の紅葉をぬきてとれば
雪のしらつゆ散かかりけり

いかでかはいひ出でしかは消なましとは
いふてとゞめつゝ世中に

玉賀法華

住吉の濱のいさごにまじりてみるものとてはつる
貫之 或本志賀

咲ちりてとまる蔦の紅葉にてしらつゆ
はかなしとゝ心にて高砂のかとまとて君を年ふるせる

君と行末の長いあり阿武山まんどころ
みやまもあり

貫之集不可見

貫之集下同

貫之集下同

彩色賀後人不知

ちとせ経る松はかはらぬ若葉にて
ときをまちつゝ彩色下同

丸本

こつね 或本

なほ

千代ふるとかをとかをれいはたゝる君が代
いせ

彩色賀貫之

たゝるあ貫之集

たゝ貫之集

伊勢集本者同

後撰拾遺貫之不知

八重なる花の色はかはらぬ
貫之

糸

松の上まつのくもをあらはしてはるのはつ
雪ぞ白とはいへる蔦の人のちとせをとるとつ
いせ

そもそも人ぬ書にこゝろ

以上十首 貫之集

家
元輔集不載
已下八首 見之

行年のことかはるゆきちらして千鳥なくなる浜のまさこに
ちよまてとおもふかなやとつゝくとてそあらそふことはありける
かめ山にけふはうつして行水にすめるかめのよはひしらるん
君か代の年のかすをは白妙の浜のまさことたれかしきけん
よろつよにいのちをしけるしるしにはうへてそまつを君かちよとそ
いはひて植る宿の花なれはちよをかそへて見るへかりける

い菊　武本

千年ふる松といへとも植てみる人そかそへてしるへかりける
菊乃花下ゆく水にかけみれはさらになみなくおいにけるかな
行やとたちよりて植たる宿なれはちよともちきる菊のはなやは
むすひてもなほ河の水も君か代のなかさにくらへてみよ

後撰　清正
家集不載

素性

家集不載

一枝乃菊折るからにあらねともちよはへぬへくおもほゆるかな　貫之　武本
千世まてにかはらぬ宿の松風のふくらむ河の…
菊の花植たる宿の河やはや経てもふるへき…
住の江によする汀に君かつんよ…
松風のふくかきりはいつまても…咲る菊かな
きさらきて
君かためみそきしてよする是行の千世まて…
紅葉のいくへたちよる…
みつね
君か代も月をまて百とせ…

家　家　家集不載　家古今　家

伊勢

露のやと菊乃津はかりあらしハ今いくとせかちよをかへてん
わかな　　貫之
わかせこかをのへ過てまた君かためよろつ代をかねてつまんと思
よみ人
朝露にしほるゝ袖ハぬれぬとも君かためにとわかな摘る
いせい
春日野に若菜つゝ万代を祝心は神そしるらん
いせ　武本
春日野にわかなつみにかとハ乃をもこせのまハ袖をつむ
貫之　武本

家　家　同　家　古今　後春上 家集不載　家

千早振いはひまつる君かため摘春日野のわかなな
ミつね
春日野のわかなつまんといふ袖ハ摘かゝるまふ
いせ
春日野のわかなつみにや白妙の袖ふりはへて人のつまんと思
白妙の袖も見えつゝ春日野のわかなつむらし雪まある
見つ繇
春日野にわかなつみやゆくかわが八ちまでつむ
貫之
春たちてわかなつみにと君かためつかふる袖

書

同

古賀廻照

書

類聚集

古賀

百十

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家

後賀

万九

古歌下

万十

古別

遍仙法師

かさしにも花は宿れるものなれば
よそにつもれる雪ぞ散りける

ひさかたの四位人不知

ひさかたの月の桂の花なれば
ちりてもかをる袖にうつらん

紀友則

春のうぐひす初てなくこゑ
ふるさとの梅の花にまがへて
雪とのみ降てはかつは消ぬる
ちりかひくもれる空の春風に
雪とのみ降てはかつは消ぬる

別

ちりまがふ花の春の夜の月
ちりまがふ花の春の夜の月

貫之

春之

古別

同

同

古別

春之集

万十一

古別

春之

ちりくらんとはいとはねどもとしのうちに
ちりくらんとはいとはねどもとしのうちに

貫之

ちりまがふ花の春の夜の月
ちりまがふ花の春の夜の月

別

ちりまがふ花の春の夜の月
ちりまがふ花の春の夜の月

家同

家古歌

以上五首家集

貫之 武本

伊勢物語同家集

後別家

上同後哀

古別 泉

古雑下

万五百二人居まれ

同

なみだ

戸不見

万二人集

同

同

同四

同十一

同四

同十一

同十九

寺別

寺別

寺別

法人不知

寺別法人不知

寺別

同

素性集
芳戸
まろ
同

兼師集

後撰一

同

戸四

古別
後不知
戸不見
家集不載

吉日比
以下書
見集

まろ
後同

戸七
寄物
戸十二
寄物
古歌
新勅撰集
家
同
後鳳

そをしも
もこたてやそしこちかをかをいこりの人のはあんそ
今はとて山へ〳〵と思るさまりらめをかの祈よ麻をきうん
山城乃岩田森よりいかとこ事向ひてを妹よあのるま
君といふ新しとをかくあ〳〵事向の祈をいかめしとん
はるしをあるもしあの〳〵をもしを紅をあの祭祈のふ
むかしをれ事向の祈を紅をいるをしをてをよ
貴人うこ二首
紅葉
紅葉をもおもしるしを向のしれしてにしう
しをもやくを別しる分て俺 紅人の紅葉とをてを多
そをしも

戸七
同四
同
同
寄物
戸二
おの

家をあるをしあの〳〵をいこりの人のはあんそ
草枕しをの君をいをうをたくいてそうう
神代やいをの涙萩あるをしをの涙へを
いはこふの我をやをんをうをを家
家よあるをを我をあるをを我
いもをのおをを
あるををあるをの祈をを我
家をををを祭ををを
祭をををををを
我ををの人をを祭後のをあををのをを

戸四
君と集
同
戸旅
俳恒集
後旅
家
後雑三
家

時雨ふるあり明の月にうぐいすのなくやゆふ日はつまなし
さとまち行る春のあけぼの
秋せこそ行はるる
天花の雨ともなれとなほ雪ふる
人ふるまつ雪はゆきとも草枕
雪はまこと草枕さはる
ふるる波の音をおくりまつる
雪はしらくもの中より
雪はなほ
雪はなほ
雪はなほ

以上同上
同二
同九
同七
同二
同

以上同
同七
ちうり
ち哀素性
万二

人丸

貫之

同

後哀 爲之

古哀 同

古哀 爲之

右土肴 爲之集

以上

貫之

爲之集

兼輔集

同 爲之集又 爲之

後兼輔集未載

後哀 兼輔

家

古哀 爲之

伊勢物語

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以下三首 家集

俊恒集 不載

古哀 忠岑 家集不載

古哀 歌

同上

伊勢物語 業平

忠岑集不載

伊勢集有之

以下三首 家集

古哀 業平

そやいうあとく少てしたつねつそとまとをる

はるゆき

石上ふるき跡ゆ君をるてしらるるまちん

こつね

俊成卿雜下 見し集全同

君をるてあるれ山のまに雪のいとあいとうてこ源ちあ

俊成卿

とはるるみ家集

貫之

きえ森下同

うつ時とれとあてて雪の山に石上ふるれ君をあ君よてきけ

忠岑集并古哀に既をせけし侍と外そもとと別をとそ

とうとうとうと

同 上毛野岑雄

同 紀望行

戸七

六十四首 書方

古哀 田院皇女

戸三

書方

古哀 後人不知

深草山 此歌の詞を見あはせて思ふに深草山
[illegible]
[illegible]
[illegible]

山のあらん

新千載下 赤人

天地のわかれしときゆ神さびて高くたかくこそ仕へ来にけれ

みよしの山を

ときゆ 五下同

にしきぶ

みよしの山をかすみのたちかくしあれはわすれぬものを

かくれて照月の

ろひ

かくれて照月のひかりをたにかくしてはなれぬ白雲のいゆき

いゆき

そらかすみたちくもりて雪いたくふるかすらいつらゆんみつのをかはをゆくなり

あるき

あるきはそらあるみちはなれるまつ

五十三

いを 万下同

五百板

ちに

はるはまだいやはてきてとをくわたるつてもやまとかはらんなのとをみ

五十

ある

河とはるはるのひいやまのはのよはかをとさ

古新作

やうに

はるはくるとふるはのをとなくもりとをを

ふるる雨

ふるる雨のやまとのむらんたはるみしてあまをとを

さそよ 万下同

ちはなをのはるれわるまをとをれ

ときはに

はるやあるらんこのるはるはを

ひとよこの

はるはを

つき

はるはを

五十

はるはを

讀人不知

あるはるはるいろふかをはるはあるは

雪はるるはるはるは

同上
別墨不見

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同上
家集始
載く

さてかへりてもあれ宿のあるじまこと
ゑ雨乃まやーのん

おなし題

みのてゝね

くし行のうへはるるとみやはいろのあるまいるみる
ゆふかとのくまーあくれはてゝ人もとはい
うきてけり月いとてみてうたのはをかまてぞ
なるまの世まてはあくらす今ゝおけとはてうるた
ちのふつもくやちりはるるらんとてくん
ふるはくくいみーくよくるもけるまくてみ
ゆくはけんおちてちはみるけるおわるとうのと
けうくーはれくいあれとてるひうらはまのか

なりもとゆくいはのくるかたあるとはみたり
とはおもるるはみはまあるたのおたくくんの
かされのおりあくいあくーはれ
ちりはまてはたはるるのうのりの
服はは河面よりて行りるはは帰くて
しはるあくくみつるるはいるはるかる俺
なりあるるるるるるるるるのはのうとるるへ
やよはまはるるいやくてたるるるさかく
しはくなくくはくのるくはみくはの海よりは海の
なくくはくくくくやおりはまくんはくくはいの
らはくくくるるくくくくくくのからくくくくくく

なとそれらの言ひくおのとしとおとのことはさ
君うやらしかわしこうかん

みをのうち

ちとやある新伴月とやけこあいとうすみあいと
とうふ紅葉とくもふる雪は言葉のあはあいし
ちいくひとこと成ゆけとむのとよりてらるあ
ひとうきて言葉いやかるまるのうるもて
みるる言葉はうへはみくの白雪はたてあ
むはらしかあもうもるつる

七條の后うせ給て後ある

いはは

なきはなのもとにやはしたらこへてとそ
いせのあまもふるしるしらんかうる陸
きふ陸はあのくれるあはわまてらふはは
紅葉とんこいたのうちのくこうもあとはむ
なりてとてとるはとはは花とは君る紅みとはむ
ケとりてをたのうえん和歌の時うまりつとはよと
人め

せんとうう　十七首

かきこうはいあるとうてとうとる君あとはの陸はさはは
新陸とおらやうとはとそのうこふ白くふるはは何の花とと

同

百十

同十三

同十

同

白雪降る
冬ごもり不見
躬恒集・有

躬恒集

同

古雪降る
躬恒集

君をとこの久しかるべき月日の雨ふりつゝ
つねに

貫之

於雪下法人不知
ゆきとけぬるとこの春はよもあらじ
ふるまつ花はいかゞといはゞや

自栗同
ふるまつ花はいかゞといはゞや
初春の河のほとりにて
寄之下同
初春の河のほとりにて
二句家集上下句

百十

同七次下同

於雪下法人不知
白雪はとけぬるとこの春なれば
梅ぞ引つゝのへるなりける
百歌の大家人乃上あるこゝ
ふるまつ花はいかゞといはゞや
藻ゝる岸はわるゝ波の
住吉のいてゝ社演ゝ

古今和歌六帖第五

雜思

[illegible]

[illegible]

[illegible]

服飾

亀

琴

みまき　あや
あの　ひこ

本歌
後恋三 星主
万十一
古恋一 兼之
兼之序

後恋六 人不知
新恒集
後恋六 後人不知
本歌
古恋一 後人不知
伊勢物語
同十

後恋四 文則
文則集
後恋三
後恋四 敦忠
朝忠集載く
本歌
万四 天十一
人丸集不載
同十

かくとだにえやはいぶきのさしも草
さしも知らじな燃ゆる思ひを
（後古恋一 人丸）
ちはやぶる神のいがきに年ふれど
しめのをしるしなかりけるかな
（にちりと 万不同）
世中はかくてそなりけり
いのちをしらぬ人にとはばや
（同）
いにしへもかくやなるらん
なるとてはかなき世をぞ
（新恋 とおる心 人にとらん）
ひとりつれなくもとはるる
（うちけき）
ひとりつれなる年をとる
人にとられて孤なる袖に心をかけ
（彩物恋一 後人不知）
ものちかくとあのくれ
ぬるとてはかなきものを
（うちけき）
ぬるとてはかなきものを
（うちけき）
ぬるとてはかなきものを
（うちけき）

家後拾一

後五四

古今集不載

万十一

古今集一陸奥人不知

古今集一 夫木集

万九

万十一

古今集二

家

家集不載

家

同

同

いせ

どこしかの絶えしるくもあるかなるあさぢはら
ひとあしたかた

山おこの後

霞たちまちてとしもすぎぬるかな

うぶ後

いくとせ経ぬるかはやはらぐ水のうへ
ひとしれぬ

ものこひしきころかな万

ものこひしきころかな万

ものこひしきころかな万

白鹿二
家

白鹿二家長不載
後五五 業平集
業平集 伊勢集

白鹿五
家

寺考

百十一

異野集

百十

同十一
下洲立也

百四

百不載
家集なし

寺考

同

百十

同十一

同
月二佐是已出

同十
月三佐廻已出

寺考

人丸後

五十一

人麿

大伴坂上の郎女

同四

古歌集 作者不知

ちはや

古歌集

寄月

同

後撰集

同

叡居奪編

万二

同

同

同七作事洋

同・同

於恵二

あのてれ海のいるとこれいとはとこてもう

家持

見陳れ君行ものもれ養れをひけかこと

大伴のとるもろ

ひあいきてしもこゆのてんこもをんこうんぺ

もるるもろ

梅れ君行てちあとんいと新とあのひ梅るもや

高城やちるもの君れとやとてこあこもこ

君はるる君とこしあ新こあ梅めのきこんれめそ

万七

同十 人丸集 ナニ伯社已出

万二

同十

同二十

同二

同二 奪朋軍

於恵二 梅れ君行不知

月雪恵 人丸

於雅秋 恵不知

梅れ君行ものもれ君

梅れ君行ものもれ君

梅れ君行ものもれ君

梅れ君行ものもれ君

梅れ君行ものもれ君

梅れ君行ものもれ君

家持

但馬

但馬

但馬

百四

同十

同

同十一作者未詳

夫人

百二

家集不載

家集

[illegible]

百四

百十一

夫人

同

古今集二法皇

夫人集

後撰中

家集漏

今更よなのみしをもうつ
あのひとをね

あのひとのゆくすえもの年のをくれ
よるのこころはしらねとをしる

はるのよのなりぬるかとをしみつる
はるはてしなくあるかとをしみつる

月ごとに秋のかはるはあれどもね
あのひとをいつくしみつる

あのひとをいつくしみつる
ひとをこそ

あのひとをいつくしみつる
ひとをこそ

万四

寺戸

万寺家不載

寺戸

同

万四帖莫已出

後三ニ考

寺戸

万四

同

家集不載

寺戸

万三帖反本歌已也

万四

同

同十一

古五四反人不知

伊勢物語

寺戸

同

同

百十一
後京極
岩室集
寄恋
百四
寄恋
百五一 読人不知
寄恋

人麿

しらのさとに人をたづねてわけいれば
たゆけとぬれぬ露をたづねて

百十一
後京極
百十一
同
同
百十二 読人不知
同百十二

人麿

ひとめもるくさのいほりのしばつゆ
ぬれぬ心ぞ秋をかなしむ

いせ

月をまちてこのあけがたの
人をこそ
ぬれぬ袖の露やあらまし
ぬれぬ袖の露やあらまし
山がつのかきねにはえし
ぬれぬ袖の露やあらまし
ぬれぬ袖の露やあらまし
ぬれぬ袖の露やあらまし

万十六　古五隆　陸人不知

同　能恒　能恒集

万七　古五三　友則　友則集

古五二　陸人不知

万十　古五隆　陸人不知

万十　同　古五三　宗岳人頼

万十一　同十　古五一　陸人不知

万十一　同九

いはるるいとうつるとてわくに流くまーいとへとてるくのるれ
勅撰のやうにやうにみなく晴世のつてのやとはるくるる
石敢河せてせ煙はあるくくしくいくるくてるあのくに知くん
藤せ流みるる恵和歌のせ世ものくくくくくるるるにあや
あるる川なせの流よしとひるるくにあ世にて流くるくあ
川せせるるくくむ藤のみくくくくくんるて世の高て
人とにあるるのるるるるするるるるるるるるるるるるるる
藤流の藤まるくるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
春流川のせるくくるるるるるるるるるるるるるるるるるる
なるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

こい　ちろい　展轉カ　えち　いとり　ぬ方ト同　ゆ　ゆくり　疑　ふる　ふり　ちくまもし　ふる　ふり　ふる　ふり　ふる　ふり

家

万五五 作者集

万五一 後人不知

万十

同二 但馬皇女

万家集不載

[illegible]

人麿

万十二 作者未詳

同十七 年歌所

万家集不載

万八

考

同

万十

同十一

同十

万一 佐佐木信綱

家持

[illegible]

人麿

万家集不載

[illegible]

万十

同十一

同十

万一 佐佐木信綱

万葉集不載

万八

同四 大伴宗旅人

伊勢集

万葉集不載

万十

夏歌集

人麿

万八

吉彦

万九

古歌 読人不知

家

吉彦

古歌 読人不知

万十

家持

百二
寄物

家
百四

古歌
陸奥不知

同 文別集

同
後撰 陸奥不知
寄物

百三
同 仏集
同二十
寄物

百四
古今 別已出

かろがろしき池の水あるかなきかの
なかれもあへぬ水のうへに
なにはがたのあしのねをしのぶらん
ゆめ
はるかぜのなびかぬ
なかれもあへぬ
あるかなきかの
石間ゆく水の白波
まこもかりしかりしかれ
ゆめ
君
山
ゆめ
君
ゆめ
君
ゆめ
君
ゆめ

古雅体 俳恒 俳恒集不見

同恋二 小町集歌 家集ニ歌

同 家

五十

同

同

恋三 三条右大臣

寄月

むばたまのよるのつきかげ
なりにけりあけてのちのそらにて
さつね

昔よりあはれ
こまち

ぬばたまのあかつきかけのあいにてうつるつきの
なかめのくらの高とやまに月のいでぬるかな
うつし草同

あるこの歌はあけそめてのちのそらにて
かりにけるとあるこの歌はあけてのちのそらにて
あけのちまよはくく
あけのちまよはくく
あけのちまよはくく

戸四

家

寺

同

家

戸四

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万十一
きみ

万十一
同

家集不載

あのをとて一自を君なれば七夕ゝ紙を惰まる　貫之

二夜ねてくる　人丸

君なるよみまゝ卯月ふれ二夜ちゝ毛のとく紙こゝろぶ
君なるなてて二夜なるあむ今宵ゝてゝあかんとん

地てゝ

ふとひて紙ふ紙ふとひあのゝことゆゝ歌
人なるあ紙ゝわまゝ

ひゝる　ゆゝ

ひゝるゆゝ君紙てゝゝ紙を　貫之

家集不載
万十四東歌
万六帖山映集
万十
同四
同
同
同

寺房
同
百九
寺房
百十一位右寺房
同九
寺房
同

人丸

人丸

同

頃集
百四
寺房
百四
下口堅立
同
家
百二十

人麻呂

安貴王

寄物
戸十一
船恒集
引二怙通已ム

恢歴こ是こ
是こ寄不載

戸 家集不見

戸こ
引二怙毛已ム

戸 家集
不載

戸四

戸八

同四
引六怙伊知こ注ム

同十一

同十

寄物
戸七こし

戸八

寄物

なるこころを思ひ程を過てい掃ひ捨てうつ
ろひてきてう寄物あるこの紙はよれくいはそ
れやうにやなふて捨ひこのひらをまとあること

賀こと

月かくこ君こと思ふこと言はい立つ事はと
やうもこ

戸十月ク人て主ひこと思ひ日ヲ人ていてこいの主ひこ

是東ひいひてこ紙ひ見ひいふてゆめ見るよみこと
にそひかつのしまるのは

戸之ヲ幸志頃賜石上御給歌一首色紙
集中ニ歴御ハ居ニ寄ヲ居ヲ居ヲ居ヲ
こ八ヲ居こ

家めていはやいつこ内宮ひこと思ひこと
人ま紙

こ雨こ紙神いひあんん姉家ちひいふこと

かくてやはやまんちくこあひひとうこまひて
こしきてあるこ

戸上同

戸七

ひひ乃おひ乃重ひ寄ひ多て
大原ひこの市淵ひいつこ

戸ヲ

ひひ乃ひいこ姉こひあくこ
ひひ乃ひいこ
寝こしひ乃ひこ日ひこ
ひあむひこひもく紙ひ
君こ家ひ門田ひこんと出こ

家物

月ひこ

ひひ乃ひこ
むむひ乃ひこ君ひ

百四十髮言九

後拾一

百八

兼輔集

おもてのうすくなりにたるを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家
古雑一
見し春
古五四 法人不知
寄月
百十一
同
同
古秋下 文則集
五一怙文月ヒ
古五五 春覚三
百十二

古五四
家
寄月
古五五 法人不知
新恒集
五一怙文月ヒ
寄月
同
家
百四

奥深き所の庵にすみなれのみとそ人を待てふつる
雨つれ人目とをきやまのあなたにあはれ人のとはぬ
やまにすまはやまとあはれ人のとはぬ
君なしの郭の月新しやらも宮こ人羽をせる
あさらのみとをとをとをいとはくるとにはくる君まち
かくのみやとはまちんとはくるとふ更て出る月まちとと
道にてのはるとをとをとをとをとをとをとをとをとを
新たしてとをとをとをとをとをとをとをとをとを
仮寝にはやまとをとをとをとをとをとをとをとを
仮寝にはやまとをとをとをとをとをとをとをとを
なるこいてをとをとをとをとをとをとをとを

君なし
ちとせ
生れ
月のとを明れ月を待いつとれ
月はまちんとをとをとをとをとをとをとをとを
月はるはとをとをとをとをとをとをとをとを
月の月新のたりるやはとをとをとをとをとを
今くとをとをとをとをとをとをとをとを
月はかけやはとをとをとをとをとをとを
はるゆき
新動 恵五
ある人と月みるとをとをとをとをとを
ましと
いつも 百不同
人待の郭
をんとをとをとをとをとをとをとを

ちなみ
同
五十一
同十
同二
百八
同四
同
同
ちなみ四位人不知
ちなみ

人とゝふ

月清光あきまさ

月ゆかしさなりて

月ゆかしさなりて

月ゆかしさなりて

百十

同

家

百八

家集ならし
歌恒集歌

ちなみ

家集不載

月氣よりてゆかしくなりて

月ゆかしさなりて

月ゆかしさなりて

月ゆかしさ

寺戸
万十一
家産不敷
戸八
古五四
寺戸
同
同

戸八
寺戸
後雑一条し
是し産
寺戸
同
九帖春風長出
古五四浜人不知
寺戸
同

家

寄人

古歌五 伊勢
伊勢集

家

後拾遺

寄人

同

伊勢物語 寄年

貫之

小野宮右大臣

今更よりいとゝ井手のゐ蛙 俊成

ふるさとを思ひ出でてもなく蛙 俊成

君ゆへ人の心の海の深さ 俊成

かはるとは思ひ出でてもなく蛙 俊成

百十

同十一

寄人

同

百十

百十一 恰雪已出

同十一

寄人

百二

寄人

百十

君ゆへ人の心の海の深さ 俊成

かはるとは思ひ出でてもなく蛙 俊成

武衰書云 江間宿心變之頃而無言任左本年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同

同

家不敢

古五五 伊勢物語 家

百四

同

古五四 家

伊勢集

百

百十一

同四

後撰一 新恒集

百十

同七

同一

同十一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊勢物語 業平
同
後撰四朝集
更衣集
古歌上 法人不知
家

今までよとせあまりあまりとせ
あまりとせあまりあまりとせ
あまりとせあまりあまりとせ
あまり

方十二
同九
同十一
同
方四帖貼長
右雅上
是し案
方
方九

人麿

おかしきものかな

人をとはむ

方十一
方
同
同
同十一 人名集
方
同
同
方四
下梅モ

[illegible]

同
同
同

同

古色元　法人不知

万四

古色五　法人不知

寺彦

万四　上寺陽已出

寺彦

歌

寺彦

万七

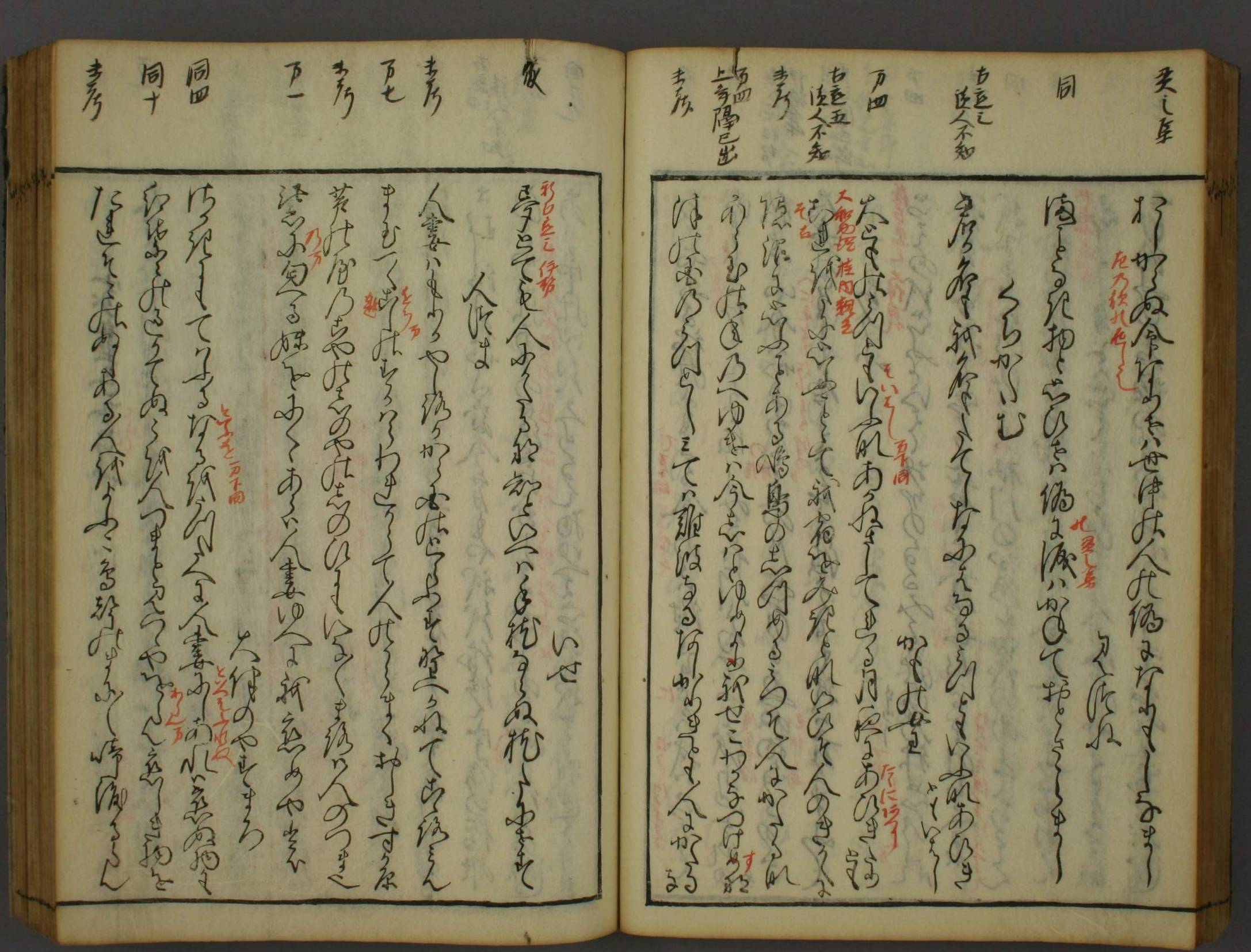
寺彦

万一

同四

同十

寺彦



万一

家童子たちの
大きなれの涙ぐるに見家にある妹とをとられける
人まの侍

万家集不載
万十二
催馬楽

万四

書陵

古五四
漢人不知

万四
同十九

家持

書陵

古五二
漢人不知

書陵

万四

書陵

同

同

同

書陵

黄蓮
カリヤス

茂戸

戸二

同十二

同十三

同四

戸二

同

あさかけの衣分ハ秋の白露に袖をぬらして
ゆきけるとし

大和ぢ

大和ぢなる源氏の白たきの
あさかけの衣分ハ秋の白露に袖をぬらして
ゆきけるとし

七戸

あるひとの
かさね女郎

異

にワ

かさね女郎
あるひとの
ゆきけるとし

てワ

誽

日本記

あるひとの
ゆきけるとし

同

古歌ト
注人不知

同陽春秋

戸

同

オミ怙床面白

戸十二

同

古歌ト
注人不知

日ものてゝ
いせ海ふかくなる海のうけなれや心ひとつをかなつる
世中ハ
うらかなしさ
ものゝ
もとゝ

月ハ
ものゝ
ものゝ
ものゝ

万七

同四

下留人さも

寺方

戸四

寺方

戸二人名長歌集く

月一帖考已ぬ

寺方

同

寺方

寺方

家長不教

寺方

家

古恵こ

同

後

同

家

古恵こ後人不知

行方知れず

人麿

独ぬく物思ふ山へ行く道の雲の中なる

思ひ絶えぬ乃ちの雲の中なる

あしひきの山鳥の尾の長々し

夜をぞ一人ねる

みるめなき我が身なりけり人を待つ

海人の藻刈

有明の月待つ間の山の端に

ほのぼのとこそ

有明の月待つ間の山の端に

いでしかたちの

人麿

ほのぼのとこそ

ほのぼのとこそ

ほのぼのとこそ

万葉家集不審

右五之伊勢物語

哀しき長常我
作五二注者
庚考長常歟

万十一
万四 拾雑恋
已上

万十一
同四

梅花咲てちりぬと聞て今まて待出さぬあるかなりけり

人麻呂

春の山の神もあてやあらぬ物の神もあてやあらぬ

貫之

任国乃松を見てる白波のかけてしたれといかくしらん

人麻呂

あきかしはあるや門道花東雲之人まあひもたちまちかはる

人麻呂

ゆきのきとあるあはゆきあるはに今はたのあるはにあるはるる

行平

行平の家の前の海の人はいとなれはかはるる

作者不詳

万十一
万四
上五六不審
万十九

万十一

人麻呂

あるいはまた命なり

河内なる君とのあるはたとの更あるはたとの時

新古五之歌人
新古五之歌人
万十一同

水の面よりいる舟君とは宴をしまりとはいとまり地

上古

まてとはいとまりたるかいとまりたるの雨

元

まてとはいとまりたるかいとまりたるの雨

面照

意くてあるはたとの月のあるはたとの月

万十一同

折たくも焉はいかくけりあるはたとの君はまあや

於雑春俊之題照

まてとはいとまりたるかいとまりたるの雨

兎山に於

人麻呂

なるはたとの月のあるはたとの雨

万十一同

なるはたとの月のあるはたとの雨

未考

古歌
陸奥人不知

後考

未考

古歌
陸奥人不知

未考

未考

後考
紀内親王

百十一作者未詳
古歌
風俗

万葉
大伴坂上郎女

同二
下玉櫛笥

古歌二
辛夷又

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古雑体

百十一

同四

百十一

書陵

古至之

書陵

百十一

竹のうへに名乃をとはれかんとおもひてきてよみける

あるあへハ神をあがめそ　ちはやふる人のふるかるる

今よりハ名ハ惜けて紙いとす　姉とよりてハちはやふる

なる名ハ人名不義

なる名ハ

ゆきあとの乃こ実紙をなかめとて人ハ見をとなかをハ

なる名ハ　とい宮ハ　ものみてとてきけ

とをとる

人ハいさ紙ハ名の惜けれと昔と今とハ紙をと

立用ハなけれ紙をとハ紙無名ハなりつるれ

いくちはふる雨のハ紙ハ　ふるかれてくる流をてふ

後雑二　伊勢

伊勢集

書陵

古至之　清春有歌

書陵

後雑二　更し更

更し集

日本紀ハ　彦火々出見尊

百四

同

同

次風ハ下乃ちりのあるるふさもとやとに紀紙無名ハ

大宮の紙名ハ惜と海ふるかをとをとこせそん

あやうてまこ紙ちをき名ハ井戸四門海そやまん拍ふるよ

なる名ハ　ハ　あらるるハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

かさとをとをとをとるん　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

わすれて

真清水とのみさけくとをふ紙いとの妹ハ見をとをとをとる

あまの雲ハとあるハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

いかにとをとけしんも紙とくハ姉よ立ついかてをとん

家物

とをとをとをと

同伝伯本人

家集不載

万七

同

万十二 三帖親已也

万十一 作者未詳

同一

考

万十 家集不載

万十一 上古使已也

考

万十一

同

同

同二

同十

日本紀十二 元義化

古事記 中巻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万四

きさの
高帖看影

万十一 金秋集

同四

きさの

万十 月帖
秋風已

万十一

同

同

同

同 月帖鹿已

同九 月帖雑已

同十一

同十

同十一

伊勢物語 業平

万七

きさの

万七

かさの女郎 高帖陸奥 名遠第

ゆうすけ人

[illegible]

かくれつま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万四

家

寄せ物語面白し

四

万十 発句集

寄せ物

家

十寄せ 俳人不知

俳諧信友

俳諧一五

家集不載

御物語

寄せ物

万四

嘉慶一俳人不知

寄せ物

同

同

とりあつめて

いせ

かさね女郎

伊勢海乃藻をとりあつめ

梅屋さんあつめをけるこの海乃藻

貴人

明月を新あの庵よりつゝみ

今はかりの

時雨井手のもみちをあつめ

あつまり

人物乃元定同

彩色五俳人不知

いせ海乃ちいさ

いせ海乃ちいさ

いとあつめ

いとあつめ

いとあつめ

万四
上今憑已れ
後雑二
読人不知
寄物

古五四
出雲春日

古五四 鳥風
集

同 読人不知

同雑上読人不知
伊勢物語業平

後春上読人不知
伊勢集

同

紅葉の色はつたなくあまたたん
結ひ置かれぬ秋の白露
雪ふる乃紅葉をかりて活てとまるらん
今はとてかくと言葉ふるひ
あまたたびかくとてそやめけん
あまたたびかくと今は何をかんよんとてこのるこころ
かまつるこころ
探見ふ人ひとり見ぬなりけり
見ぬ人はかくとかてこそ
見ぬ人はかくとかてこそ

紅葉の色は上歌前

うつあれ花
やめけん
あまたたびかくと
今は何をかんよんとてこのるこころ
探見ふ人ひとり見ぬなりけり
見ぬ人はかくとかてこそ
いせ

紅葉

万四
上是夏人已忘

花見記
古春上読人不知
寄物
主殿
同
家
家
万四
上是夏人已忘

忘貝
梅の香を袖のうつりてとめたらは
うつりてとめたらは
多あるものをかなしかりけ
いせ
いとまなきかのかふ
はなをたちよるる
はるのいろ
形見別
見ぬ人の乃宮
をとこ
うさ乃安部
とし
新出羽人
にをつすや

上惜名已出

同

伊勢集

百二

法人不知

夏之集

家集雜

家

伊勢集

同

後五四

家集屬

百十

伊勢

伊勢

後の伊勢の移り

法人不知

伊勢

万八　紙まけるわ面打ちたるかてたゝ之の色
同　わきもこうわをつくわる秋の黒髪何かのかつらあふ
やうもち
かん
万十一　うたむけはら黒髪ちりぬいとや紙の紙屋よりひきてあん
同二　あつまを書くもまんすりまん紙に髪を黒のまきて
同十一　うたむけは黒髪ちりぬ花のよう嫁まれらんら
人まき紙
万并家集歌　後法の方書はまんすりまん紙に髪を黒のつきて
万十七　おけをとい作りをくそうふむ乃紙に髪紙をひきてらん
寸方　紙くふれのかけつる野くあをたまに髪をふまつ

家　後光法人不知
万一　竹書ども
万四　田部櫻ら
上青間ども
同十一
寸方
万二
同十一
万二
古色
法人不知

正髪紙とうく紙の身の紙紙とたる
いとくいなの法ちんまを紙人の黒髪紙くを長き法紙
うたむけ紙髪紙ひまをあうをみをて出ちをわくを
あふくしの黒髪紙をくれて紙に髪紙ばかりあり紙
たをあのをてくれをなう姉ちあをまを法ちあるよみをふしつんら
於高人名
紙わくを紙人紙をあるくをの紙
ちをゆの
紙法をまをおけ紙出をまたに紙をとゆのつきて黒紙し
君のをとはれをていこを法紙をとゆひよ黒つをまを
く

万九
同四
女王良之長
伊勢物語
万九

同十一
後雑一
人丸玉鬘

万元
古今二
安倍清行
万元

古雑上
万十二
万十
万七

同九 作者不詳
後着上 伊勢
伊勢集
古雑上 業平
伊勢物語
万十

同
同

かたらはた
文武天皇

万七　人麻呂

わたつみの海乃ゆたかなる玉ゆらをおそくとる海人
ひとまろ

同　同四　湯原王

同七

万十一　同

家集不載

むかしをもかたりつぎてこよなくあるものを
むかしをもかたりつぎてこよなくあるものを
たまの代

おもかげをあらぬものとおもひかねてあるものを
むかしをもかたりつぎてこよなくあるものを
むかしをもいかでかたりつぎてこよなくあるものを
作者

万十二　同

家集不載

むかしをもかたりつぎてこよなくあるものを
むかしをもかたりつぎてこよなくあるものを
むかしをもかたりつぎてこよなくあるものを
作者

万十三　同

作者未詳

万十四　作者未詳

同十五　作者未詳

万十六　同

家集不載

万十七　同

作者未詳

万十八　同

作者未詳

万十九　同

作者未詳

万二十　同

作者未詳

万二十一　同

作者未詳

万二十二　同

作者未詳

万二十三　同

作者未詳

万二十四　同

作者未詳

万二十五　同

作者未詳

万二十六　同

作者未詳

万二十七　同

作者未詳

万二十八　同

作者未詳

万二十九　同

作者未詳

万二十　同

作者未詳

万二十一　同

作者未詳

万二十二　同

作者未詳

万二十三　同

作者未詳

万二十四　同

作者未詳

万二十五　同

作者未詳

万二十六　同

作者未詳

万二十七　同

作者未詳

万二十八　同

作者未詳

万二十九　同

作者未詳

万三十　同

作者未詳

万三十一　同

作者未詳

万三十二　同

作者未詳

万三十三　同

作者未詳

万三十四　同

作者未詳

万三十五　同

作者未詳

万三十六　同

作者未詳

万三十七　同

作者未詳

万三十八　同

作者未詳

万三十九　同

作者未詳

万四十　同

作者未詳

万四十一　同

作者未詳

万四十二　同

作者未詳

万四十三　同

作者未詳

万四十四　同

作者未詳

万四十五　同

作者未詳

万四十六　同

作者未詳

万四十七　同

作者未詳

万四十八　同

作者未詳

万四十九　同

作者未詳

万五十　同

作者未詳

万五十一　同

作者未詳

万五十二　同

作者未詳

万五十三　同

作者未詳

万五十四　同

作者未詳

万五十五　同

作者未詳

万五十六　同

作者未詳

万五十七　同

作者未詳

万五十八　同

作者未詳

万五十九　同

作者未詳

万六十　同

作者未詳

万六十一　同

作者未詳

万六十二　同

作者未詳

万六十三　同

作者未詳

万六十四　同

作者未詳

万六十五　同

作者未詳

万六十六　同

作者未詳

万六十七　同

作者未詳

万六十八　同

作者未詳

万六十九　同

作者未詳

万七十　同

作者未詳

万七十一　同

作者未詳

万七十二　同

作者未詳

万七十三　同

作者未詳

万七十四　同

作者未詳

万七十五　同

作者未詳

万七十六　同

作者未詳

万七十七　同

作者未詳

万七十八　同

作者未詳

万七十九　同

作者未詳

万八十　同

作者未詳

万八十一　同

作者未詳

万八十二　同

作者未詳

万八十三　同

作者未詳

万八十四　同

作者未詳

万八十五　同

作者未詳

万八十六　同

作者未詳

万八十七　同

作者未詳

万八十八　同

作者未詳

万八十九　同

作者未詳

万九十　同

作者未詳

万九十一　同

作者未詳

万九十二　同

作者未詳

万九十三　同

作者未詳

万九十四　同

作者未詳

万九十五　同

作者未詳

万九十六　同

作者未詳

万九十七　同

作者未詳

万九十八　同

作者未詳

万九十九　同

作者未詳

万百　同

作者未詳

万百一　同

作者未詳

万百二　同

作者未詳

万百三　同

作者未詳

万百四　同

作者未詳

万百五　同

作者未詳

万百六　同

作者未詳

万百七　同

作者未詳

万百八　同

作者未詳

万百九　同

作者未詳

万百十　同

作者未詳

万百十一　同

作者未詳

万百十二　同

作者未詳

万百十三　同

作者未詳

万百十四　同

作者未詳

万百十五　同

作者未詳

万百十六　同

作者未詳

万百十七　同

作者未詳

万百十八　同

作者未詳

万百十九　同

作者未詳

万百二十　同

作者未詳

万百二十一　同

作者未詳

万百二十二　同

作者未詳

万百二十三　同

作者未詳

万百二十四　同

作者未詳

万百二十五　同

作者未詳

万百二十六　同

作者未詳

万百二十七　同

作者未詳

万百二十八　同

作者未詳

万百二十九　同

作者未詳

万百三十　同

作者未詳

万百三十一　同

作者未詳

万百三十二　同

作者未詳

万百三十三　同

作者未詳

万百三十四　同

作者未詳

万百三十五　同

作者未詳

万百三十六　同

作者未詳

万百三十七　同

作者未詳

万百三十八　同

作者未詳

万百三十九　同

作者未詳

万百四十　同

作者未詳

万百四十一　同

作者未詳

万百四十二　同

作者未詳

万百四十三　同

作者未詳

万百四十四　同

作者未詳

万百四十五　同

作者未詳

万百四十六　同

作者未詳

万百四十七　同

作者未詳

万百四十八　同

作者未詳

万百四十九　同

作者未詳

万百五十　同

作者未詳

万百五十一　同

作者未詳

万百五十二　同

作者未詳

万百五十三　同

作者未詳

万百五十四　同

作者未詳

万百五十五　同

作者未詳

万百五十六　同

作者未詳

万百五十七　同

作者未詳

万百五十八　同

作者未詳

万百五十九　同

作者未詳

万百六十　同

作者未詳

万百六十一　同

作者未詳

万百六十二　同

作者未詳

万百六十三　同

作者未詳

万百六十四　同

作者未詳

万百六十五　同

作者未詳

万百六十六　同

作者未詳

万百六十七　同

作者未詳

万百六十八　同

作者未詳

万百六十九　同

作者未詳

万百七十　同

作者未詳

万百七十一　同

作者未詳

万百七十二　同

作者未詳

万百七十三　同

作者未詳

万百七十四　同

作者未詳

万百七十五　同

作者未詳

万百七十六　同

作者未詳

万百七十七　同

作者未詳

万百七十八　同

作者未詳

万百七十九　同

作者未詳

万百八十　同

作者未詳

万百八十一　同

作者未詳

万百八十二　同

作者未詳

万百八十三　同

作者未詳

万百八十四　同

作者未詳

万百八十五　同

作者未詳

万百八十六　同

作者未詳

万百八十七　同

作者未詳

万百八十八　同

作者未詳

万百八十九　同

作者未詳

万百九十　同

作者未詳

万百九十一　同

作者未詳

万百九十二　同

作者未詳

万百九十三　同

作者未詳

万百九十四　同

作者未詳

万百九十五　同

作者未詳

万百九十六　同

作者未詳

万百九十七　同

作者未詳

万百九十八　同

作者未詳

万百九十九　同

作者未詳

万二百　同

作者未詳

万二百一　同

作者未詳

万二百二　同

作者未詳

万二百三　同

作者未詳

万二百四　同

作者未詳

万二百五　同

作者未詳

万二百六　同

作者未詳

万二百七　同

作者未詳

万二百八　同

作者未詳

万二百九　同

作者未詳

万二百十　同

作者未詳

万二百十一　同

作者未詳

万二百十二　同

作者未詳

万二百十三　同

作者未詳

万二百十四　同

作者未詳

万二百十五　同

作者未詳

万二百十六　同

作者未詳

万二百十七　同

作者未詳

万二百十八　同

作者未詳

万二百十九　同

作者未詳

万二百二十　同

作者未詳

万二百二十一　同

作者未詳

万二百二十二　同

作者未詳

万二百二十三　同

作者未詳

万二百二十四　同

作者未詳

万二百二十五　同

作者未詳

万二百二十六　同

作者未詳

万二百二十七　同

作者未詳

万二百二十八　同

作者未詳

万二百二十九　同

作者未詳

万二百三十　同

作者未詳

万二百三十一　同

作者未詳

万二百三十二　同

作者未詳

万二百三十三　同

作者未詳

万二百三十四　同

作者未詳

万二百三十五　同

作者未詳

万二百三十六　同

作者未詳

万二百三十七　同

作者未詳

万二百三十八　同

作者未詳

万二百三十九　同

作者未詳

万二百四十　同

作者未詳

万二百四十一　同

作者未詳

万二百四十二　同

作者未詳

万二百四十三　同

作者未詳

万二百四十四　同

作者未詳

万二百四十五　同

作者未詳

万二百四十六　同

作者未詳

万二百四十七　同

作者未詳

万二百四十八　同

作者未詳

万二百四十九　同

作者未詳

万二百五十　同

作者未詳

万二百五十一　同

作者未詳

万二百五十二　同

作者未詳

万二百五十三　同

作者未詳

万二百五十四　同

作者未詳

万二百五十五　同

作者未詳

万二百五十六　同

作者未詳

万二百五十七　同

作者未詳

万二百五十八　同

作者未詳

万二百五十九　同

作者未詳

万二百六十　同

作者未詳

万二百六十一　同

作者未詳

万二百六十二　同

作者未詳

万二百六十三　同

作者未詳

万二百六十四　同

作者未詳

万二百六十五　同

作者未詳

万二百六十六　同

作者未詳

万二百六十七　同

作者未詳

万二百六十八　同

作者未詳

万二百六十九　同

作者未詳

万二百七十　同

作者未詳

万二百七十一　同

作者未詳

万二百七十二　同

作者未詳

万二百七十三　同

作者未詳

万二百七十四　同

作者未詳

万二百七十五　同

作者未詳

万二百七十六　同

作者未詳

万二百七十七　同

作者未詳

万二百七十八　同

作者未詳

万二百七十九　同

作者未詳

万二百八十　同

作者未詳

万二百八十一　同

作者未詳

万二百八十二　同

作者未詳

万二百八十三　同

作者未詳

万二百八十四　同

作者未詳

万二百八十五　同

作者未詳

万二百八十六　同

作者未詳

万二百八十七　同

作者未詳

万二百八十八　同

作者未詳

万二百八十九　同

作者未詳

万二百九十　同

作者未詳

万二百九十一　同

作者未詳

万二百九十二　同

作者未詳

万二百九十三　同

作者未詳

万二百九十四　同

作者未詳

万二百九十五　同

作者未詳

万二百九十六　同

作者未詳

万二百九十七　同

作者未詳

万二百九十八　同

作者未詳

万二百九十九　同

作者未詳

万三百　同

作者未詳

万三百一　同

作者未詳

万三百二　同

作者未詳

万三百三　同

作者未詳

万三百四　同

作者未詳

万三百五　同

作者未詳

万三百六　同

作者未詳

万三百七　同

作者未詳

万三百八　同

作者未詳

万三百九　同

作者未詳

万三百十　同

作者未詳

万三百十一　同

作者未詳

万三百十二　同

作者未詳

万三百十三　同

作者未詳

万三百十四　同

作者未詳

万三百十五　同

作者未詳

万三百十六　同

作者未詳

万三百十七　同

作者未詳

万三百十八　同

作者未詳

万三百十九　同

作者未詳

万三百二十　同

作者未詳

万三百二十一　同

作者未詳

万三百二十二　同

作者未詳

万三百二十三　同

作者未詳

万三百二十四　同

作者未詳

万三百二十五　同

作者未詳

万三百二十六　同

作者未詳

万三百二十七　同

作者未詳

万三百二十八　同

作者未詳

万三百二十九　同

作者未詳

万三百三十　同

作者未詳

万三百三十一　同

作者未詳

万三百三十二　同

作者未詳

万三百三十三　同

作者未詳

万三百三十四　同

作者未詳

万三百三十五　同

作者未詳

万三百三十六　同

作者未詳

万三百三十七　同

作者未詳

万三百三十八　同

作者未詳

万三百三十九　同

作者未詳

万三百四十　同

作者未詳

万三百四十一　同

作者未詳

万三百四十二　同

作者未詳

万三百四十三　同

作者未詳

万三百四十四　同

作者未詳

万三百四十五　同

作者未詳

万三百四十六　同

作者未詳

万三百四十七　同

作者未詳

万三百四十八　同

作者未詳

万三百四十九　同

作者未詳

万三百五十　同

作者未詳

万三百五十一　同

作者未詳

万三百五十二　同

作者未詳

万三百五十三　同

作者未詳

万三百五十四　同

作者未詳

万三百五十五　同

作者未詳

万三百五十六　同

作者未詳

万三百五十七　同

作者未詳

万三百五十八　同

作者未詳

万三百五十九　同

作者未詳

万三百六十　同

作者未詳

万三百六十一　同

作者未詳

万三百六十二　同

作者未詳

万三百六十三　同

作者未詳

万三百六十四　同

作者未詳

万三百六十五　同

作者未詳

万三百六十六　同

作者未詳

万三百六十七　同

作者未詳

万三百六十八　同

作者未詳

万三百六十九　同

作者未詳

万三百七十　同

作者未詳

万三百七十一　同

作者未詳

万三百七十二　同

作者未詳

万三百七十三　同

作者未詳

万三百七十四　同

作者未詳

万三百七十五　同

作者未詳

万三百七十六　同

作者未詳

万三百七十七　同

作者未詳

万三百七十八　同

作者未詳

万三百七十九　同

作者未詳

万三百八十　同

作者未詳

万三百八十一　同

作者未詳

万三百八十二　同

作者未詳

万三百八十三　同

作者未詳

万三百八十四　同

作者未詳

万三百八十五　同

作者未詳

万三百八十六　同

作者未詳

万三百八十七　同

作者未詳

万三百八十八　同

作者未詳

万三百八十九　同

作者未詳

万三百九十　同

作者未詳

万三百九十一　同

作者未詳

万三百九十二　同

作者未詳

万三百九十三　同

作者未詳

万三百九十四　同

作者未詳

万三百九十五　同

作者未詳

万三百九十六　同

作者未詳

万三百九十七　同

作者未詳

万三百九十八　同

作者未詳

万三百九十九　同

作者未詳

万四百　同

作者未詳

万四百一　同

作者未詳

万四百二　同

作者未詳

万四百三　同

作者未詳

万四百四　同

作者未詳

万四百五　同

作者未詳

万四百六　同

作者未詳

万四百七　同

作者未詳

万四百八　同

作者未詳

万四百九　同

作者未詳

万四百十　同

作者未詳

万四百十一　同

作者未詳

万四百十二　同

作者未詳

万四百十三　同

作者未詳

万四百十四　同

作者未詳

万四百十五　同

作者未詳

万四百十六　同

作者未詳

万四百十七　同

作者未詳

万四百十八　同

作者未詳

万四百十九　同

作者未詳

万四百二十　同

作者未詳

万四百二十一　同

作者未詳

万四百二十二　同

作者未詳

万四百二十三　同

作者未詳

万四百二十四　同

作者未詳

万四百二十五　同

作者未詳

万四百二十六　同

作者未詳

万四百二十七　同

作者未詳

万四百二十八　同

作者未詳

万四百二十九　同

作者未詳

万四百三十　同

作者未詳

万四百三十一　同

作者未詳

万四百三十二　同

作者未詳

万四百三十三　同

作者未詳

万四百三十四　同

作者未詳

万四百三十五　同

作者未詳

万四百三十六　同

作者未詳

万四百三十七　同

作者未詳

万四百三十八　同

作者未詳

万四百三十九　同

作者未詳

万四百四十　同

作者未詳

万四百四十一　同

作者未詳

万四百四十二　同

作者未詳

万四百四十三　同

作者未詳

万四百四十四　同

作者未詳

万四百四十五　同

作者未詳

万四百四十六　同

作者未詳

万四百四十七　同

作者未詳

万四百四十八　同

作者未詳

万四百四十九　同

作者未詳

万四百五十　同

作者未詳

万四百五十一　同

作者未詳

万四百五十二　同

作者未詳

万四百五十三　同

作者未詳

万四百五十四　同

作者未詳

万四百五十五　同

作者未詳

万四百五十六　同

作者未詳

万四百五十七　同

作者未詳

万四百五十八　同

作者未詳

万四百五十九　同

作者未詳

万四百六十　同

作者未詳

万四百六十一　同

作者未詳

万四百六十二　同

作者未詳

万四百六十三　同

作者未詳

万四百六十四　同

作者未詳

万四百六十五　同

作者未詳

万四百六十六　同

作者未詳

万四百六十七　同

作者未詳

万四百六十八　同

作者未詳

万四百六十九　同

作者未詳

万四百七十　同

作者未詳

万四百七十一　同

作者未詳

万四百七十二　同

作者未詳

万四百七十三　同

作者未詳

万四百七十四　同

作者未詳

万四百七十五　同

作者未詳

万四百七十六　同

作者未詳

万四百七十七　同

作者未詳

万四百七十八　同

作者未詳

万四百七十九　同

作者未詳

万四百八十　同

作者未詳

万四百八十一　同

作者未詳

万四百八十二　同

作者未詳

万四百八十三　同

作者未詳

万四百八十四　同

作者未詳

万四百八十五　同

作者未詳

万四百八十六　同

作者未詳

万四百八十七　同

作者未詳

万四百八十八　同

作者未詳

万四百八十九　同

作者未詳

万四百九十　同

作者未詳

万四百九十一　同

作者未詳

万四百九十二　同

作者未詳

万四百九十三　同

作者未詳

万四百九十四　同

作者未詳

万四百九十五　同

作者未詳

万四百九十六　同

作者未詳

万四百九十七　同

作者未詳

万四百九十八　同

作者未詳

万四百九十九　同

作者未詳

万五百　同

作者未詳

万五百一　同

作者未詳

万五百二　同

作者未詳

万五百三　同

作者未詳

万五百四　同

作者未詳

万五百五　同

作者未詳

万五百六　同

作者未詳

万五百七　同

作者未詳

万五百八　同

作者未詳

万五百九　同

作者未詳

万五百十　同

作者未詳

万五百十一　同

作者未詳

万五百十二　同

作者未詳

万五百十三　同

作者未詳

万五百十四　同

作者未詳

万五百十五　同

作者未詳

万五百十六　同

作者未詳

万五百十七　同

作者未詳

万五百十八　同

作者未詳

万五百十九　同

作者未詳

万五百二十　同

作者未詳

万五百二十一　同

作者未詳

万五百二十二　同

作者未詳

万五百二十三　同

作者未詳

万五百二十四　同

作者未詳

万五百二十五　同

作者未詳

万五百二十六　同

作者未詳

万五百二十七　同

作者未詳

万五百二十八　同

作者未詳

万五百二十九　同

作者未詳

万五百三十　同

作者未詳

万五百三十一　同

作者未詳

万五百三十二　同

作者未詳

万五百三十三　同

作者未詳

万五百三十四　同

作者未詳

万五百三十五　同

作者未詳

万五百三十六　同

作者未詳

万五百三十七　同

作者未詳

万五百三十八　同

作者未詳

万五百三十九　同

作者未詳

万五百四十　同

作者未詳

万五百四十一　同

作者未詳

万五百四十二　同

作者未詳

万五百四十三　同

作者未詳

万五百四十四　同

作者未詳

万五百四十五　同

作者未詳

万五百四十六　同

作者未詳

万五百四十七　同

作者未詳

万五百四十八　同

作者未詳

万五百四十九　同

作者未詳

万五百五十　同

作者未詳

万五百五十一　同

作者未詳

万五百五十二　同

作者未詳

万五百五十三　同

作者未詳

万五百五十四　同

作者未詳

万五百五十五　同

作者未詳

万五百五十六　同

作者未詳

万五百五十七　同

作者未詳

万五百五十八　同

作者未詳

万五百五十九　同

作者未詳

万五百六十　同

作者未詳

万五百六十一　同

作者未詳

万五百六十二　同

作者未詳

万五百六十三　同

作者未詳

万五百六十四　同

作者未詳

万五百六十五　同

作者未詳

万五百六十六　同

作者未詳

万五百六十七　同

作者未詳

万五百六十八　同

作者未詳

万五百六十九　同

作者未詳

万五百七十　同

作者未詳

万五百七十一　同

作者未詳

万五百七十二　同

作者未詳

万五百七十三　同

作者未詳

万五百七十四　同

作者未詳

万五百七十五　同

作者未詳

万五百七十六　同

作者未詳

万五百七十七　同

作者未詳

万五百七十八　同

作者未詳

万五百七十九　同

作者未詳

万五百八十　同

作者未詳

万五百八十一　同

作者未詳

万五百八十二　同

作者未詳

万五百八十三　同

作者未詳

万五百八十四　同

作者未詳

万五百八十五　同

作者未詳

万五百八十六　同

作者未詳

万五百八十七　同

作者未詳

万五百八十八　同

作者未詳

万五百八十九　同

作者未詳

万五百九十　同

作者未詳

万五百九十一　同

作者未詳

万五百九十二　同

作者未詳

万五百九十三　同

作者未詳

万五百九十四　同

作者未詳

万五百九十五　同

作者未詳

万五百九十六　同

作者未詳

万五百九十七　同

作者未詳

万五百九十八　同

作者未詳

万五百九十九　同

作者未詳

万六百　同

作者未詳

万六百一　同

作者未詳

万六百二　同

作者未詳

万六百三　同

作者未詳

万六百四　同

作者未詳

万六百五　同

作者未詳

万六百六　同

作者未詳

万六百七　同

作者未詳

万六百八　同

作者未詳

万六百九　同

作者未詳

万六百十　同

作者未詳

万六百十一　同

作者未詳

万六百十二　同

作者未詳

万六百十三　同

作者未詳

万六百十四　同

作者未詳

万六百十五　同

作者未詳

万六百十六　同

作者未詳

万六百十七　同

作者未詳

万六百十八　同

作者未詳

万六百十九　同

作者未詳

万六百二十　同

作者未詳

万六百二十一　同

作者未詳

万六百二十二　同

作者未詳

万六百二十三　同

作者未詳

万六百二十四　同

作者未詳

万六百二十五　同

作者未詳

万六百二十六　同

作者未詳

万六百二十七　同

作者未詳

万六百二十八　同

作者未詳

万六百二十九　同

作者未詳

万六百三十　同

作者未詳

万六百三十一　同

作者未詳

万六百三十二　同

作者未詳

万六百三十三　同

作者未詳

万六百三十四　同

作者未詳

万六百三十五　同

作者未詳

万六百三十六　同

作者未詳

万六百三十七　同

作者未詳

万六百三十八　同

作者未詳

万六百三十九　同

作者未詳

万六百四十　同

作者未詳

万六百四十一　同

作者未詳

万六百四十二　同

作者未詳

万六百四十三　同

作者未詳

万六百四十四　同

作者未詳

万六百四十五　同

作者未詳

万六百四十六　同

作者未詳

万六百四十七　同

作者未詳

万六百四十八　同

作者未詳

万六百四十九　同

作者未詳

万六百五十　同

作者未詳

万六百五十一　同

作者未詳

万六百五十二　同

作者未詳

万六百五十三　同

作者未詳

万六百五十四　同

作者未詳

万六百五十五　同

作者未詳

万六百五十六　同

作者未詳

万六百五十七　同

作者未詳

万六百五十八　同

作者未詳

万六百五十九　同

作者未詳

万六百六十　同

作者未詳

万六百六十一　同

作者未詳

万六百六十二　同

作者未詳

万六百六十三　同

作者未詳

万六百六十四　同

作者未詳

万六百六十五　同

作者未詳

万六百六十六　同

作者未詳

万六百六十七　同

作者未詳

万六百六十八　同

作者未詳

万六百六十九　同

作者未詳

万六百七十　同

作者未詳

万六百七十一　同

作者未詳

万六百七十二　同

作者未詳

万六百七十三　同

作者未詳

万六百七十四　同

作者未詳

万六百七十五　同

作者未詳

万六百七十六　同

作者未詳

万六百七十七　同

作者未詳

万六百七十八　同

作者未詳

万六百七十九　同

作者未詳

万六百八十　同

作者未詳

万六百八十一　同

作者未詳

万六百八十二　同

作者未詳

万六百八十三　同

作者未詳

万六百八十四　同

作者未詳

万六百八十五　同

作者未詳

万六百八十六　同

作者未詳

万六百八十七　同

作者未詳

万六百八十八　同

作者未詳

万六百八十九　同

作者未詳

万六百九十　同

作者未詳

万六百九十一　同

作者未詳

万六百九十二　同

作者未詳

万六百九十三　同

作者未詳

万六百九十四　同

作者未詳

万六百九十五　同

作者未詳

万六百九十六　同

作者未詳

万六百九十七　同

作者未詳

万六百九十八　同

作者未詳

万六百九十九　同

作者未詳

万七百　同

作者未詳

万七百一　同

作者未詳

万七百二　同

作者未詳

万七百三　同

作者未詳

万七百四　同

作者未詳

万七百五　同

作者未詳

万七百六　同

作者未詳

万七百七　同

作者未詳

万七百八　同

作者未詳

万七百九　同

作者未詳

万七百十　同

作者未詳

万七百十一　同

作者未詳

万七百十二　同

作者未詳

万七百十三　同

作者未詳

万七百十四　同

作者未詳

万七百十五　同

作者未詳

万七百十六　同

作者未詳

万七百十七　同

作者未詳

万七百十八　同

作者未詳

万七百十九　同

作者未詳

万七百二十　同

作者未詳

万七百二十一　同

作者未詳

万七百二十二　同

作者未詳

万七百二十三　同

作者未詳

万七百二十四　同

作者未詳

万七百二十五　同

作者未詳

万七百二十六　同

作者未詳

万七百二十七　同

作者未詳

万七百二十八　同

作者未詳

万七百二十九　同

作者未詳

万七百三十　同

作者未詳

万七百三十一　同

作者未詳

万七百三十二　同

作者未詳

万七百三十三　同

作者未詳

万七百三十四　同

作者未詳

万七百三十五　同

作者未詳

万七百三十六　同

作者未詳

万七百三十七　同

作者未詳

万七百三十八　同

作者未詳

万七百三十九　同

作者未詳

万七百四十　同

作者未詳

万七百四十一　同

作者未詳

万七百四十二　同

作者未詳

万七百四十三　同

作者未詳

万七百四十四　同

作者未詳

万七百四十五　同

作者未詳

万七百四十六　同

作者未詳

万七百四十七　同

作者未詳

万七百四十八　同

作者未詳

万七百四十九　同

作者未詳

万七百五十　同

作者未詳

万七百五十一　同

作者未詳

万七百五十二　同

作者未詳

万七百五十三　同

作者未詳

万七百五十四　同

作者未詳

万七百五十五　同

作者未詳

万七百五十六　同

作者未詳

万七百五十七　同

作者未詳

万七百五十八　同

作者未詳

万七百五十九　同

作者未詳

万七百六十　同

作者未詳

万七百六十一　同

作者未詳

万七百六十二　同

作者未詳

万七百六十三　同

作者未詳

万七百六十四　同

作者未詳

万七百六十五　同

作者未詳

万七百六十六　同

作者未詳

万七百六十七　同

作者未詳

万七百六十八　同

作者未詳

万七百六十九　同

作者未詳

万七百七十　同

作者未詳

万七百七十一　同

作者未詳

万七百七十二　同

作者未詳

万七百七十三　同

作者未詳

万七百七十四　同

作者未詳

万七百七十五　同

作者未詳

万七百七十六　同

作者未詳

万七百七十七　同

作者未詳

万七百七十八　同

作者未詳

万七百七十九　同

作者未詳

万七百八十　同

作者未詳

万七百八十一　同

作者未詳

万七百八十二　同

作者未詳

万七百八十三　同

作者未詳

万七百八十四　同

作者未詳

万七百八十五　同

作者未詳

万七百八十六　同

作者未詳

万七百八十七　同

作者未詳

万七百八十八　同

作者未詳

万七百八十九　同

作者未詳

万七百九十　同

作者未詳

万七百九十一　同

作者未詳

万七百九十二　同

作者未詳

万七百九十三　同

作者未詳

万七百九十四　同

作者未詳

万七百九十五　同

作者未詳

万七百九十六　同

作者未詳

万七百九十七　同

作者未詳

万七百九十八　同

作者未詳

万七百九十九　同

作者未詳

万八百　同

作者未詳

万八百一　同

作者未詳

万八百二　同

作者未詳

万八百三　同

作者未詳

万八百四　同

作者未詳

万八百五　同

作者未詳

万八百六　同

作者未詳

万八百七　同

作者未詳

万八百八　同

作者未詳

万八百九　同

作者未詳

万八百十　同

作者未詳

万八百十一　同

作者未詳

万八百十二　同

作者未詳

万八百十三　同

作者未詳

万八百十四　同

作者未詳

万八百十五　同

作者未詳

万八百十六　同

作者未詳

万八百十七　同

作者未詳

万八百十八　同

作者未詳

万八百十九　同

作者未詳

万八百二十　同

作者未詳

万八百二十一　同

作者未詳

万八百二十二　同

作者未詳

万八百二十三　同

作者未詳

万八百二十四　同

作者未詳

万八百二十五　同

作者未詳

万八百二十六　同

作者未詳

万八百二十七　同

作者未詳

万八百二十八　同

作者未詳

万八百二十九　同

作者未詳

万八百三十　同

作者未詳

万八百三十一　同

作者未詳

万八百三十二　同

作者未詳

万八百三十三　同

作者未詳

万八百三十四　同

作者未詳

万八百三十五　同

作者未詳

万八百三十六　同

作者未詳

万八百三十七　同

作者未詳

万八百三十八　同

作者未詳

万八百三十九　同

作者未詳

万八百四十　同

作者未詳

万八百四十一　同

作者未詳

万八百四十二　同

作者未詳

万八百四十三　同

作者未詳

万八百四十四　同

作者未詳

万八百四十五　同

作者未詳

万八百四十六　同

作者未詳

万八百四十七　同

作者未詳

万八百四十八　同

作者未詳

万八百四十九　同

作者未詳

万八百五十　同

作者未詳

万八百五十一　同

作者未詳

万八百五十二　同

作者未詳

万八百五十三　同

作者未詳

万八百五十四　同

作者未詳

万八百五十五　同

作者未詳

万八百五十六　同

作者未詳

万八百五十七　同

作者未詳

万八百五十八　同

作者未詳

万八百五十九　同

作者未詳

万八百六十　同

作者未詳

万八百六十一　同

作者未詳

万八百六十二　同

作者未詳

万八百六十三　同

作者未詳

万八百六十四　同

作者未詳

万八百六十五　同

作者未詳

万八百六十六　同

作者未詳

万八百六十七　同

作者未詳

万八百六十八　同

作者未詳

万八百六十九　同

作者未詳

万八百七十　同

作者未詳

万八百七十一　同

作者未詳

万八百七十二　同

作者未詳

万八百七十三　同

作者未詳

万八百七十四　同

作者未詳

万八百七十五　同

作者未詳

万八百七十六　同

作者未詳

万八百七十七　同

作者未詳

万八百七十八　同

作者未詳

万八百七十九　同

作者未詳

万八百八十　同

作者未詳

万八百八十一　同

作者未詳

万八百八十二　同

作者未詳

万八百八十三　同

作者未詳

万八百八十四　同

作者未詳

万八百八十五　同

作者未詳

万八百八十六　同

作者未詳

万八百八十七　同

作者未詳

万八百八十八　同

作者未詳

万八百八十九　同

作者未詳

万八百九十　同

作者未詳

万八百九十一　同

作者未詳

万八百九十二　同

作者未詳

万八百九十三　同

作者未詳

万八百九十四　同

作者未詳

万八百九十五　同

作者未詳

万八百九十六　同

作者未詳

万八百九十七　同

作者未詳

万八百九十八　同

作者未詳

万八百九十九　同

作者未詳

万九百　同

作者未詳

万九百一　同

作者未詳

万九百二　同

作者未詳

万九百三　同

作者未詳

万九百四　同

作者未詳

万九百五　同

作者未詳

万九百六　同

作者未詳

万九百七　同

作者未詳

万九百八　同

作者未詳

万九百九　同

作者未詳

万九百十　同

作者未詳

万九百十一　同

作者未詳

万九百十二　同

作者未詳

万九百十三　同

作者未詳

万九百十四　同

作者未詳

万九百十五　同

作者未詳

万九百十六　同

作者未詳

万九百十七　同

作者未詳

万九百十八　同

作者未詳

万九百十九　同

作者未詳

万九百二十　同

作者未詳

万九百二十一　同

作者未詳

万九百二十二　同

作者未詳

万九百二十三　同

作者未詳

万九百二十四　同

作者未詳

万九百二十五　同

作者未詳

万九百二十六　同

作者未詳

万九百二十七　同

作者未詳

万九百二十八　同

作者未詳

万九百二十九　同

作者未詳

万九百三十　同

作者未詳

万九百三十一　同

作者未詳

万九百三十二　同

作者未詳

万九百三十三　同

作者未詳

万九百三十四　同

作者未詳

万九百三十五　同

作者未詳

万九百三十六　同

作者未詳

万九百三十七　同

作者未詳

万九百三十八　同

作者未詳

万九百三十九　同

作者未詳

万九百四十　同

作者未詳

万九百四十一　同

作者未詳

万九百四十二　同

作者未詳

万九百四十三　同

作者未詳

万九百四十四　同

作者未詳

万九百四十五　同

作者未詳

万九百四十六　同

作者未詳

万九百四十七　同

作者未詳

万九百四十八　同

作者未詳

万九百四十九　同

作者未詳

万九百五十　同

作者未詳

万九百五十一　同

作者未詳

万九百五十二　同

作者未詳

万九百五十三　同

作者未詳

万九百五十四　同

作者未詳

万九百五十五　同

作者未詳

万九百五十六　同

作者未詳

万九百五十七　同

作者未詳

万九百五十八　同

作者未詳

万九百五十九　同

作者未詳

万九百六十　同

作者未詳

万九百六十一　同

作者未詳

万九百六十二　同

作者未詳

万九百六十三　同

作者未詳

万九百六十四　同

作者未詳

万九百六十五　同

作者未詳

万九百六十六　同

作者未詳

万九百六十七　同

作者未詳

万九百六十八　同

作者未詳

万九百六十九　同

作者未詳

万九百七十　同

作者未詳

万九百七十一　同

作者未詳

万九百七十二　同

作者未詳

万九百七十三　同

作者未詳

万九百七十四　同

作者未詳

万九百七十五　同

作者未詳

万九百七十六　同

作者未詳

万九百七十七　同

作者未詳

万九百七十八　同

作者未詳

万九百七十九　同

作者未詳

万九百八十　同

作者未詳

万九百八十一　同

作者未詳

万九百八十二　同

作者未詳

万九百八十三　同

作者未詳

万九百八十四　同

作者未詳

万九百八十五　同

作者未詳

万九百八十六　同

作者未詳

万九百八十七　同

作者未詳

万九百八十八　同

作者未詳

万九百八十九　同

作者未詳

万九百九十　同

作者未詳

万九百九十一　同

作者未詳

万九百九十二　同

作者未詳

万九百九十三　同

作者未詳

万九百九十四　同

作者未詳

万九百九十五　同

作者未詳

万九百九十六　同

作者未詳

万九百九十七　同

作者未詳

万九百九十八　同

作者未詳

万九百九十九　同

作者未詳

万十百　同

作者未詳

万十百一　同

作者未詳

万十百二　同

作者未詳

万十百三　同

作者未詳

万十百四　同

作者未詳

万十百五　同

作者未詳

万十百六　同

作者未詳

万十百七　同

作者未詳

万十百八　同

作者未詳

万十百九　同

作者未詳

万十百十　同

作者未詳

万十百十一　同

作者未詳

万十百十二　同

作者未詳

万十百十三　同

作者未詳

万十百十四　同

作者未詳

万十百十五　同

作者未詳

万十百十六　同

作者未詳

万十百十七　同

作者未詳

万十百十八　同

作者未詳

万十百十九　同

作者未詳

万十百二十　同

作者未詳

万十百二十一　同

作者未詳

万十百二十二　同

作者未詳

万十百二十三　同

作者未詳

万十百二十四　同

作者未詳

万十百二十五　同

作者未詳

万十百二十六　同

作者未詳

万十百二十七　同

作者未詳

万十百二十八　同

作者未詳

万十百二十九　同

作者未詳

万十百三十　同

作者未詳

万十百三十一　同

作者未詳

万十百三十二　同

作者未詳

万十百三十三　同

作者未詳

万十百三十四　同

作者未詳

万十百三十五　同

作者未詳

万十百三十六　同

作者未詳

万十百三十七　同

作者未詳

万十百三十八　同

作者未詳

万十百三十九　同

作者未詳

万十百四十　同

作者未詳

万十百四十一　同

作者未詳

万十百四十二　同

作者未詳

万十百四十三　同

作者未詳

万十百四十四　同

作者未詳

万十百四十五　同

作者未詳

万十百四十六　同

作者未詳

万十百四十七　同

作者未詳

万十百四十八　同

作者未詳

万十百四十九　同

作者未詳

万十百五十　同

作者未詳

万十百五十一　同

作者未詳

万十百五十二　同

作者未詳

万十百五十三　同

作者未詳

万十百五十四　同

作者未詳

万十百五十五　同

作者未詳

万十百五十六　同

作者未詳

万十百五十七　同

作者未詳

万十百五十八　同

作者未詳

万十百五十九　同

作者未詳

万十百六十　同

作者未詳

万十百六十一　同

作者未詳

万十百六十二　同

作者未詳

万十百六十三　同

作者未詳

万十百六十四　同

作者未詳

万十百六十五　同

作者未詳

万十百六十六　同

作者未詳

万十百六十七　同

作者未詳

万十百六十八　同

作者未詳

万十百六十九　同

作者未詳

万十百七十　同

作者未詳

万十百七十一　同

作者未詳

万十百七十二　同

作者未詳

万十百七十三　同

作者未詳

万十百七十四　同

作者未詳

万十百七十五　同

作者未詳

万十百七十六　同

作者未詳

万十百七十七　同

作者未詳

万十百七十八　同

作者未詳

万十百七十九　同

作者未詳

万十百八十　同

作者未詳

万十百八十一　同

作者未詳

万十百八十二　同

作者未詳

万十百八十三　同

作者未詳

万十百八十四　同

作者未詳

万十百八十五　同

作者未詳

万十百八十六　同

作者未詳

万十百八十七　同

作者未詳

万十百八十八　同

作者未詳

万十百八十九　同

作者未詳

万十百九十　同

作者未詳

万十百九十一　同

作者未詳

万十百九十二　同

作者未詳

万十百九十三　同

作者未詳

万十百九十四　同

作者未詳

万十百九十五　同

作者未詳

万十百九十六　同

作者未詳

万十百九十七　同

作者未詳

万十百九十八　同

作者未詳

万十百九十九　同

作者

万十一
同
及し集
万十二
家
古
古歌体
後人不知
寸
同
万七

万十一
同
同十一作者未詳
寸
万十九
後別
同後人不知
色則集

知於色四人九
寸
万十同
万十同
万十同

百十一
寺号
古五二淡人不知
同五三貞文
百四
同作者寺詳
古五二淡人不知
百四

同上作者寺詳
寺号
百十一
寺号
同
同
伊勢切花葉
百十
寺号
百十一

寺乃
万十一
同
同二
同六
寺乃
万十作者未詳
九四帖雅君忠
万十八

後旅 茂乃
万十
同
寺乃
同
同
万七
同
同十一
同七

同十一
寺号
百十一
同十四
同四
寺号
同

右之三
家
寺号

右之三
家
同四
同
雖人不知
寺号

右之三
家
百十一
寺号
百十一

秀し集
万七
同十二

古五五 撰人不知
万十一
寄月

寄女御集
後五之 能恒集

後撰 撰人不知
万六 赤人

万十作者未詳
人丸集
寄月

家
寄月

古秋上 撰人不知
寄月

後撰 撰人不知
万

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万十一 百一佰歟 風ヒモ
上野守子ヒモ

夏之集

家集不載

夏之集

同

同

隣院不知
同雅一
伊勢物語

家集不載

伊勢物語

万十一

同七

古之四 何原左大臣
伊勢物語

[illegible]

[illegible]

石苅河の行幸の社中納言の歌とあり

貫之

[illegible]

[illegible]

百七　おもひたつ作海人忌

百七　同

同

百九

主殿

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万四

同十四

同

万十一

同

同

上時起巳刻

同

同十二

あしたとなりてはなちるとうとふるはるとうとふ
にはとみてあさてとみてとかうとあさて
きてんはまてるとなりはるはるはる

万十一下錦正也
又恬恒穂也
伊勢物語 業平
同和歌人不知
伊勢物語
業平
同
古今四
陸人不知
万
業平
万九

かもかはるとしにはあれどあるがなかにあるとしにはあれどあるがなかにあるとしにはあれどあるがなかにあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古歌下 法人不知

家

家

後春下 法人不知

家

後賀

右天暦皇帝皇子時貞信公家小御住還給

時奉御年号

同

法春

同

同

同

後秋雜五 法人不知

同

同

後交

古雅上　藤原為師

同　紀安信清行

万七

家

同　紀

俊成集　中務卿親王　建暦元年三代集　同月六　或明　月十六　嘉明　皆中務卿親王

同　中務卿親王

夏集

万七

寄月

寄月

同

同

同

寄物五五　作人不知

いとゝしくゆるぬ紙のうらゝ波やとゝ人とゝ

ゆるぬ紙のゆかしくもあるかな

紙のゆかしくもあるかな

紙のゆかしくもあるかな

同

同

万十一

ゆゑん

はたゝきとゝまらぬ

たゝ紙や万

燕也

とゝまらぬ

古五四　住天平

同雅上人花

万十一　作者住吉人花集

祝賀

梅ゝ引

梅ゝ引

梅ゝ引

其其　祝人花集ゝ同

古五二　別祝

寄物

家

万十二

万家集不載

五二　久米禅師

同十一

古五二　家集不見

梅ゝ

梅ゝ

梅ゝ

戸家屋不敷
五三間人大庸
寺房
五二
寺房
五二
五四
寺房

人まん

矢

五十
同
同
四
同十
未房
五四
寺房

笑中潛磨刺人刀

菱万
寺秀
同
同
寺秀
寺秀
後別後人集
宗千集

寺秀
夏し集
元輔集
寺秀
万三
寺秀
万十一
同
同
輝基集
宗千集

頼基集

万十一

同

同

同又十二

万十一

古五五 法人不知

古五四 法人不知

万七

春下 家

万七 作者未詳

同 同

同 元亡天皇

同八

万 并一帖文風長

新千雑下 桃園

ちるまてはいまてはてらてくるこゝろ雨よ紅梅の花盛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

い紙

あるかしてうしろ心ゆるしやあるらん紙の上せん（そ有）
あるてうはうの袖ハ世ゆ人の心乃花をもとめける（こひし流）
けあたてをあるをみしあ里深の松つるゝ立紙表
年ゆ里ゆをあるとかゝるあるをいとゝ初ゝん
世ゆ人の心ハ花深ゆ乃ひやゝ紙ハいるゝ（つきくさ乃カ古帖）
いろゝとんへやるゝん山てゝ乃ゝ紙心ゆてゝ初ゝ（色ハ古帖）
おりつゝ紙ハ乃ゝ里ゆをあるゝ（後撰巻二 読人不知）

くるゝみ

紙ゆ乃ゝ紙ゆるゝ三編ゆ紙乃ゝ紙ゆ紙ゆ世ゆゝん
かくゝゝ紙ゆゝゝ世ゆ紙ゆゝゝ紙ゆ乃ゝ紙

紙乃ゝ紙ゆ紙ゆゝ紙ゆゝ紙ゆゝ紙ゆゝ紙ゆ紙ゆゝ紙ゆ紙ゆ

三河乃ゝ紙ゆ紙ゆ紙ゆ紙ゆ紙ゆ紙ゆ紙ゆ紙ゆ（そ後）
いゝゝゝ紙ゆゝゝ紙ゆゝゝ紙ゆ

恋

古春上 家

家

茂方

古雜上 後人不知

古秋下 後秋下 後人不知

同 同

古秋下 家 茂方

家集不載 後秋下 後人不知

後冬

家集不載 後秋下 後人不知

同

同

心ゆくるる松のうらみ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

家集不載
後撰下
読人不知

百十一

題しらず
後撰下
読人不知

古今下
後撰下
後撰下
読人不知

家集不載
後撰下
読人不知

百十一
上句已出

武蔵書之社間有綾之題而無奇特随古本耳

百三

百四
題しらず

百七

同

同

百三

古今和歌六帖第六

草

夏草
秋草
冬草
下草
新草
枯草
萩
菊
薄
ふぢばかま
ゆふ
はぎ
ひさぎ
ちぐさ
ねなし草
ゆかり草
ねこじ草
ねこぶ草
ねこそぎ草
ねこ草
ねこ草
ねこ草
ねこ草
ねこ草
ねこ草
ねこ草

夏歌

春

紅梅

梅

竹

柳

庭桜

春

夏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百十

家集不載

古今一出考集

伊勢物語業平

春はあけぬ

[illegible]海のかぜ行波のうへまでも

貴之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家

万十八

同

家

家集不載

同

古五 船恒

平方

古物名歌

家集不載

家集不載

家集百首中

平方

万十七

後撰下 之方

同秋中 伊勢

伊勢集

同秋下

遠人不知

新古春上 忠見

夏草

人しれぬ夜船の笛の音をたにけく万下同

けく万下同

しるべきかなとたのみてぞ寄る

万十二 方 方

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

しるべきかなとたのみてぞ寄る

新後古夏 船恒

出けぬとは日にもあらぬ夏草の

かりそめにとて出でしかど

のうち古

人しれぬ夜船の笛の音をたに

の思河内古

夜船の上にはたなびく沼の

の思河内古

夜船の上にはたなびく沼の

夜船の上にはたなびく沼の

夜船の上にはたなびく沼の

古今三巻之集
百八
寄月

家
月二恋
大宮内侍

古今
家集不載
古今家千
寄月

百十一

来月
古雑上
陸人不知

百四

家
後雑二
百十一
同七
百十六
同十一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同十

優婆加敷式
百七寄蘆

本序

百二十

百一　又九

竺下四首本序

百十四

本序

本序

百十一

[illegible]

雜一乃草

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万十四

同十一

春下 読人不知

同 同

貞八 原見主

書方

家

古春下 読人不知 左馬頭 信友

千五帖 今之甲斐已出

寄文御集出 馬内侍

家

同

書方

家集不載

古春下

書方

紅梅花

[illegible]

今日咲句ひ[illegible]

[illegible]

[illegible]

家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古文 新恒集不載

家集不載

家

同

拾遺集載ス
家集不載

古立西 後人不知

家持集

古歌上
家

家集不載

類ス集載ス

万八

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同

古歌上 読人不知
住人名

同 同
住奈良帝

むかしをしたてたるつゝむ枝ぶりの
ゆきとまがへる白梅
人まち顔

春の来るをまつ人の下ぶしを
なりぬみと
うぐひすの枝
春たちぬとあまつ人の枝ぶりを
春の首

春たちぬとあまつ人の枝の下ぶしを
春のあるあけの風や枝ぶりの下ぶしを
春の風ぶりとうぐひすの
ちるのいそいとうぐひすの白雪

ヤ帝ト同

古歌上
家長不見

五
ちゝ制皇子

同八

後撰中
古五四
読人不知

春の来るをまつ人の下ぶしを
春のあるあけの風や枝ぶりの下ぶしを
春たちぬとあまつ人の枝ぶりを
ゆきとまがへる白梅
春の来るをまつ人の下ぶしを
春のあるあけの風や枝ぶりの下ぶしを
春の風ぶりとうぐひすの
ちるのいそいとうぐひすの白雪

ゆきとまがへる白梅

於雜下
白雪のいとゝふるとみえまがふ
花のうへにはこゝろ
同左方歌ことゝ
ちるはなをはらふ
はなにはかはるこゝろ
志賀
後拾遺上忠岑
梅花の下ちる雪のなかめ
はなの
後千
なかめの袖にはかはる
たまる涙
於雜下忠岑
さゝ玉乃伊衛にこゝろ
ゆくゑ
梅花はまつ
ゆくゑ
ゆくゑ
梅花の下ちる雪のなかめ
はなの
後千
なかめの袖にはかはる
貫之
つらゝとハかもたゝ
於雜下
梅花の下ちる雪のなかめ
はなの
後千
なかめの袖にはかはる
貫之乃法皇とうり乃子八第よ
哭る者とそおとろかれ
おもせい
於雜下
はなの白ゆきにまがふ
はなをおもてにいとゝふるとみえまがふ
はなの白ゆきにまがふ

於秋朗詠
ちりぬるかぜのなごりをしみ
伊勢
ちるかぜ
女郎花
ちるかぜのなごりをしみ
ちるかぜ
はなの
はなの
はなの

同 夢戸

古歌上 同

後撰中 家集不載

古歌上 家集不載

後撰中

同 二首共家集不載

家

同 同

家集不載 古歌上 新恒集

後撰中 家集不載

女郎花 秋の野に
あさる雁
なくなくも
なにかは
ものを
思ふ
人
なる
なる
なる

家

古歌上
家集不載

後撰中
家

古歌上
平貞文

家集不載
後撰中
新勅撰

後嘉

後撰中 拾遺 左大臣
伊勢集 同

同 右
家集同

古歌上
業平

古物名
家集不載

家集二百五十五
後撰中 後一不載

同 同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百十人丸集作者不詳

同八　家持

同

家

同

同

同

家基不孰

同

古歌上

家

すき

いちしるのいる井の為初ものを紅にせん

紅宿北野の上の内の為にけるをてむとあくはまち

人まち

いつこゆか雁のくるる花ぞなれ小雨

家有今年春

雁

雁のくるまつ出る為乃秋わくまつ出る為

はるる人

花為にふらなけれ初雪乃ふるをそてはるのくるる

はるる人

花為

めとをてそなくてかくるるやはのいるん

はるる人

いはてをてきはるるうぐひすの花為にのそる

はるる人

くるる

花為なるはるはるはるはるはるん

はるる人

花をふる春へいをあて花為はるはるはるん

家とをんをはるはるはるはるはる

古五五　拾遺五　伊勢長

同哀　三春有明

古歌上

万八

万八

同七　仮名序

同

同

家

同

家集不載
後拾遺 中務集
書ル

同

後拾遺 注人不知
書ル

古秋上
家集不載

古秋上
家集不載

古秋上

家集不載
古雜体 棟梁

古秋上
素性

[illegible]

文和切 めつらかなる人和下同
後後拾遺 秋上
うつろ

同
にかよう人和下同
同 [illegible]

たとと
[illegible]
うえたりたりうつ
後後拾遺
いろいろにかたりうつ
[illegible]
後後拾遺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同　家集
伊勢物語

古聲
家

古聲

後撰下　後人不知
家集不載

古撰下
家集不載

家集不載

家

家集不載

家集

同

同

同

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古歌下
家集不載

家之首中

同之首中

家集不載

家

家集不載

家之首中

家集不載

古歌下
家

同 棟梁
歌方

古歌下 良文

後歌下
陸人不知

家

家集不載

心あくふれくそやはらん初霜乃菊まもとを世る白菊乃花

寛元十三年十月十日内裏乃菊合より伊こうらて

なすす人

菊乃花と紅葉と今まてよ君のをるとをるとをるまもやの

紅葉人

紅葉乃花のをるわ枝をまもれてをるの

月新みるとをるとく白菊ハ枝をまもれてをるの

朝とふ霜ハをけとす菊乃花人のをるをひらをれをとをける

菊乃花ふ枝をを枝ふ人の心をををををををひ

ををををををを

家集不載

同

同

同

きたの

後法性寺
清蔭

か秋をけ

たかへ人

新拾遺

これのり

たかへ人

後法性寺秋下

我宿のうひもみたれのをの花あるをもうゑの
ものこと

むとまよはくハうひ百姿ようつくはいなるみねく
ものくしわかをなをもとうのちかとれはをくの花をいく

同

同

きたの

同

古歌人不知

家

古歌名文則
きたの

白ひもんさうハいをとをくれるをあれはをはをのか
をしもうをもうわかをくをよ思くしう知ちいみあしとこ
白雪のうへーうのうをれいをくをうをへ花をうをへく
いろうろ秋のさくをい一をせをあをひうのかををれ
くさ乃かう
菅の野うをうをのうをあうををて寄い四をををて出をの人を
ををちうう
秋ちうう野をいをちうをよをりうをのをのちうをよをて夜うの
雄の月ちううてをををを月をうのちハ寄をよううのをん
四をう夜む

古物名及則

家集不載

わらやとの花ゆえにこそ思ひ出でつれ
はるのゆき

同

多かりし家のこころにこそ思ひ出でつれ
伊勢

家

彩和雅

月さえなくうかりしのあけぼのに
おもひ人
ちをふ

まき

同

秋の野の草葉を人もわかきのよ月の海水
ちりぬるまきにけりを文をいとはれを
らせ

家

家集不載

同

古物名 人不知

まき

古物名 価値

家集不載

うもとさいる神をにくめきさめつ波の海乃数にこそ
はるのゆき

咲ぬれば
たれ人
きくとも咲ぬ
おあれいとそれいそれあるを
ちりぬくいきたの花そんとうをもひそ数乃上者
ひとりのそのりつとはをとそいふくはひこめて
くたよ

はるあれば
はるのゆき

水とを山ちくはる海つをのたはくのこまそくく合を

古物名歌ゝ集不載

書ケ　ひとり

同　ひとり

同　ひとり

万十四　かや

書ケ　かや

同　かや

万十六　ひとり

書ケ　ひとり

同　ひとり

家　かや

古文　かや

書ケ　かや

同　かや

万七　ひとり

ひとりのみ
あるとはけさぞ
ふるの名をわすれ
ぬるかとおもへば
ひとりゐ

ひとりのみ
まもられとよきこゝろかな
はなのかゝれとよきこゝろかな
ひとりのみ
まもられとよきこゝろかな
はなのかゝれとよきこゝろかな
ひとりのみ
まもられとよきこゝろかな
はなのかゝれとよきこゝろかな

後文
百十
同十一
家
同歌
同
同百七

良岑のちかき

いひそめむ人の杜にはつかりそかすみわたれる
我のやかく言ふしるしなるらむ
ちさけるさ匂ふ妹をいさなれそ堪へぬ恋をなほ
つなけきそる

朗詠
君やとる新宿わくるかまくらの時うん人さる
在事

はるゆき
むつまくかこひへてぬるさつてさ雅ろうつろひあ人さ
又

たきうの
はるゆき
ちにくる花のはしこむさつてさ風をうつて吹ろひあ
春なるぬ人ろる山のあさつの時つさ見ろてさつて

古歌
伊勢物語

百十二
春ろ
同
北山地にも
春ろ
百四
家集不載

春ろ夜まつ春ろ花ろ山ろ時つ春ろ春ろ
なつひく
あも

わろせこ言てあ花ろかわこのろひこれてあ人と物と
春弱のあさ沼人乃ろこ春ろ風とろ春ろいさこ
まろをころ桜ろ春ろ沼乃ろこ春ろ川あの沼ん
こ言ん花さ世のろと言かろこ春ろ紙言てろ春む
花ほろのろこ
わさもこはくれいひろかわこの乱て世ろ言ろ春ろそ
はるゆき
弱ろ沼のわこをかわろこそいろくろ春ろ沼ん

みくまのうらやこぎもれあこうけてゆてこぎつ新ちなくこ
六月もけぬまかはまうらやけこものうよく新いそこうふ

されうこ

女郎花さく海上はあうる花ひこみやこもこもれ高てすの郎
さこうはる八重山あきのむこうこかけうる人うこ高ーうける
うちれくのあきうの沼乃花ひけこうる人の高ーまやこそ

あ

芦はのくれひくし時上天地と人このこれいこまわ
津のこ上乃難波のあ一のめもうこ上けき我高人こうこや
人これも地ちあこきハ難波なる芦はけこれのこれやいす
はこゆき

後後撰雜下 法人不知
芦波のよれいなひく芦の根乃うき世のこ一かけ
こうこや難波ひりこのあ一へかうそれこ高のこれ
はこゆき

新古雜中 夏く
難波めれ夜ちまこて加うこくく芦大れ煙こねりんうき

心一

君こうあうこきあの沖九乃和ことこ我こうこ地のあ上こまこうこ
あこくいこうこうこの池上世ひ一のこれ乃これこうこ
ここの国のこくこの池ちこひ一のこ上ひこうこや妹こみ地あこん

ぬなこ

我こうこゆこのたあここうこきぬこハ上こ沖こもこうこ根
こ上ほこのこ中こここよ沖あこうこきぬこうこ勇上地こ沖

古雅体 家

ねはみえ　　さそこれ

かくれぬの底にしをれて　たち

くるまちつるやをうきとれぬるこの秋あれいへのうきしま

同　おれて　たゝいはひとと　秋あなくれくるまくくとこひまみ

同　垂水のこまもこの池のねはこれそ地のこれなる

あさく　荇菜同

うるうにこもまこの池　浦　井　ひきはうきて世ゆいよや

寺方　　人まろ

うき草

うきぬの世ひこれくうきをはうきくと我いこ世

家　　伊勢

新千雑上

たゝとてうるうつるうたこい池のつきを　さわ千雑同　くもり

古雅下 家

俊恒集不載

寺方

万七 法人不知

古秘上

平三百寺方

万七

わひぬ世ハ男ゆきこ共れをてて落ちれ　小野小町

こつれ

水の面ゆ　おつるこ月のうこくさ　於雑下　ゆ乃ゆ　たれ　ゆ　うおと　乃ちこ　ともるの　ゆ　ちれ

こもゆ　ひまくくち　岸　ゆ　ハ　ちち

ゆきこ

月　ちこ　ハ　ん　ゆ　ゆ　ハ　ゆ　ハ

つき　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ハ　ハ　ゆ　ハ

ゆ　ゆ　ゆ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

ゆ　ゆ　ゆ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

月　ゆ　ゆ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

古五五 五月 作者不知 色紙

万十

同

古五四 俊頼 家集不載 又

同

左日記

家

俊頼 古今 作者不載 唐歌集不載 後拾遺 右京

寄月

家

古五四 貞長

寄雲

家

寄雲 古物名 紀利貞

よの中は人の心をはなれてはなくさはれうつろひやすきものなれば

はるのよさは夕へにいとゆる月くもの間あらはれて秋はすゑ

朋夕にふるはるつきのはたらくもあくなる

やまれ

はるのゆき

道てしらつゆをはらひてはるのゆき

すこの山ゆとうきしらんこの人のゆくへをしらんこの

墨江のはるをしらせるはなれたきをとつたりくさ

おなし人

打ちのひいき住江へ

たすけ人

こつれ

住吉おもひ人

わすれはてしとおもふにもなほ

ひとしれぬ人をもつのはうせもの

伊勢

ひとしれぬ人をもつのはうせもの

こひしきにそてをのはうせもの

山たかく家はあるの夜さ

とあるくさ

おもかげの松ちかくなりぬ
ゆきてとまりぬ
なれ
つ白き
人よのこいつれの池乃あやめ
あやめ
あやめ

家
万十一
書ノ
後撰下
家集偏
家
書ノ
後拾遺

八重咲き桜

なかめくらすむかしをとはん人もなし宿は木の葉にうもれて

（五三ノ家也行乃之万十一）

霧出てあるる夏の高き山の小屋も時うすぬる

（ちいさき小屋も時うすぬる）

むかつ

むかつ高砂山の紅葉は面新しのみそわくらゝ

貫之

かきてしらんとなけれども小面新しあしかつかれ

（右二首以玉葉貫之歌不審）

いかさ海よりもるものとてあのまれてそ

くして

（うゝす）

雑体

ゆくすゑ人

ちくやある神のいかきとみくらゝ社はあつて名付とも

かはしられて高よりふくとはてのうゝやせ中凡とつを

（社神名）（後人不知）

ひしやゝ霧は高砂の高砂のてすきいあやうやとも高砂心

（にけに乃）

荷宿のくとい日まくれ

（歌）

とゝ明つ霧高の

足柄乃くこれのゝ

とのゝ

されつ

（えんゝ伍）

むくつけみものゝ乃

（ゝ五ゝと万ゝ）

かはしはは

貫之

足柄山とはくくとの名てこゝる社とくとや

（社神名）

後拾二

古秋下
家集偏
書ノ

万十
同七
同十四
万二

後宮之
きり
後宮之 作者不知
百十一
古今四 寵
百八

二條后宮

なみたちかへる坂山のこしのあらしにうちなびくくさのうへのつゆ
ちぢにこがるるあきのはぎのうへにいとどしらたまのかかるなりけり
はぎのうへのつゆをよめる
おほえつる

山ちかくすまひしてのちはるかにかすみのたちこめたるをみて
やまぶきの花ちりかかるあをやまのこのしたくらみかくれぬるかな
絶題をいひそめてよめる
あきのよ

きりぎりすなくやまもとのあさぢふにあきかぜふけばつゆぞこぼるる
やまもと

きりぎりすなくのはぎのうへにおきてはかなきものはつゆのいのち
おきてはかなきものはつゆのいのち

家
嘉一 作者不知
百八
同
同七
古今四 作者不知

あさぢふ[百八]の[下句]
題[上句]
あさぢふ[百八]
あさぢふ[百八]
あさぢふ[百八

書ヲ
万八
同上 仰君ま詠
万八
同
同
伊勢長
書ヲ 位物名

万二十
書ヲ
書ヲ
同 石ニ百物名
同
万八
書ヲ
万八

[illegible]
[illegible]
[illegible]

万十

書ノ

信濃集

古物名
夏祓法師

万十
後者上洛ノ不知
カミ伯民臣出

同十一

万八

同十一

春日殿上ものうらめしきを

わすれ

こゝろのゝ心乃底をけさうしなしわすれひのゆゑ姫分行り

わすれぬふかけきこゝろとゝもとくよ行よわすれを嫌てを

きゝわすれもゆゝしみくゝぬまぬをを祖わすれをなけ分行ん

ゝく

元ノ心元

芝川の山田はしをくつをと言けのみよものをそわすれ

あ〳〵賀はゝ心海ゝくはしをはるゝ

はるゝ

夏はのさけをふをゝあゆのをゝをゝをゝ

ゝはゝ心海ゝくはしをはるゝ

同七、

同十一

万七

万十九

書万

後ノ之師子

書ノ

万四

あはれのゝをゝゆゝはれをゝをゝをゝをゝをゝ

人をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

をゝをゝをゝをゝをゝをゝ

ゝをゝをゝをゝをゝ

ゝをゝをゝをゝ

ゝをゝをゝ

ゝをゝ

古今集 百五十二
万三十 同十一
万十一 同
同十 同十一
同 同
同 同七
同十二
夏之集
参考

ゆきもとけ
ゆきとけ
ゆきとけ
ゆき

三月

同

同

同

古整 法人不知
後撰 雜三 作者
古整 法人不知
家集不載
家
古歌四
五十五
家
考

後十二 作者長文
古物語 作者春
同 考
古歌三 文則 文則集
同 家集不載
考
古歌一 法人不知

考古

ひとりのみ
ながめてすぐる
はるのつきは
たれをまちけ
ればかはるら
ん
はるかぜは
ものをもせて
ふきはらふら
ん
あまのすむ
ひかりをかこ
ちてかへるら
ん
せりん

はるのやま
ぶきはかへ
りてちるら
ん
ふるのいと
ぶるたれか
のぼるとし
ぞ
せりん

せをはやみ
ながれをは
やみ
ちりぬれ
ばかへりこ
ずとも
せりん

ふるのいと
ぶるたれか
のぼるとし
ぞ
せりん

書写
後愛之
家
古秘上 唐序
家長不載
同
後秘上 後人不知
後秘上 後人不知

夏虫はなくなくとのみ
いせ
きゝわくそ
きゝてくるしうれしうれしの根乃なりの紙たまはれ
業平
うすくこきにあらぬ君ゆへのあはれ
しるしゆき
はるはなつる青はなまりくて
紙ぬくものやかはるまうくと
そせい

書写
古秘上 後人不知
同
後秘上 後人不知
同 同
更く集

秋風はなのあとをとはんとすれども
まれむ
はるはなの色乃変るよりあまの山
ちんどいの秋のみ山乃紅葉
秋乃野をもやるべくおもひ
多はなの人まの色のちるをなげ
はつはなの名をもとめ
秋乃野を紙乃色乃ちるよりや
山ぶきの
あくる
書写
古秘上 後人不知

貫之三
たれ
き
や後下同
ゆ
玉葉四 更く
於物名 古今 唐序 後撰集不載
言
水秘下同
きゝわくらん

古見集
新撰集
[illegible]
万十
古今和歌集
後撰上 [illegible]
同秋下 [illegible]
同雑 [illegible]
古今和歌集
後撰上 [illegible]
伊勢物語
家集不載
古今二
家

[illegible]

物名 [illegible]

[illegible]

[illegible]

遍昭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寄人不知

但御名

菱乃

夏し葉

古長五

侯人不知

寄人不知

同

万乙

寄人不知

賀之

家

同

同

同

古春下

家

同

同

古春下

同

文則

久かたの月のうちまちる花のいろをん
貫之

ちる花を家にとまれるあしびきの
山ほとゝぎすなにをなくらん

梅の花ちりまがふ人
なるらん

梅の花ちりまがふ人
なるらん

ちる花を家にとまれるあしびきの
山ほとゝぎすなにをなくらん

伊勢

梅の花ちりまがふ人
なるらん

ちる花を家にとまれるあしびきの
山ほとゝぎすなにをなくらん

貫之

久かたの月のうちまちる花のいろを
文則

後者下 家集不載

後者下 家集不載

古者下 躬恒集不載

古者下 躬恒

古方

躬恒集

家集不載

同

同

家集不載

古者上 家

古者上 不知 素性集不載

同 同 素性集我

あさぼらけ下行あらはれてみくさの花の名をうしなひけり

貫之

たちくれて春とはいへどみよしのの山のあまつそらはなほかすみつつ

古下同

ふるさとは人もこそうつれあとはかはらぬ月のかげかな

人もこそ流

ひさかたの月のかつらもうつりてやいとどあきのよはまさるらん

いとどあきの

秋宿乃花ん

春雨の花橘人の所にてはらんかやいつれ

萬葉集

萬葉集

花ちれるうゑのあるじはあるかなきかしらねど

古下同

ちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくやまけふこえてあさきゆめみじ

いろは

久堅の空にみちてる雪はなほ春のなごりとおもはまし

伊勢

あくがれてあるかなきかのあるかなきかのあるかなきかの

家春
同
同

同

家長不載
古春下
後人不知

家

後撰拾
家

百十

家長不載
家

紅葉

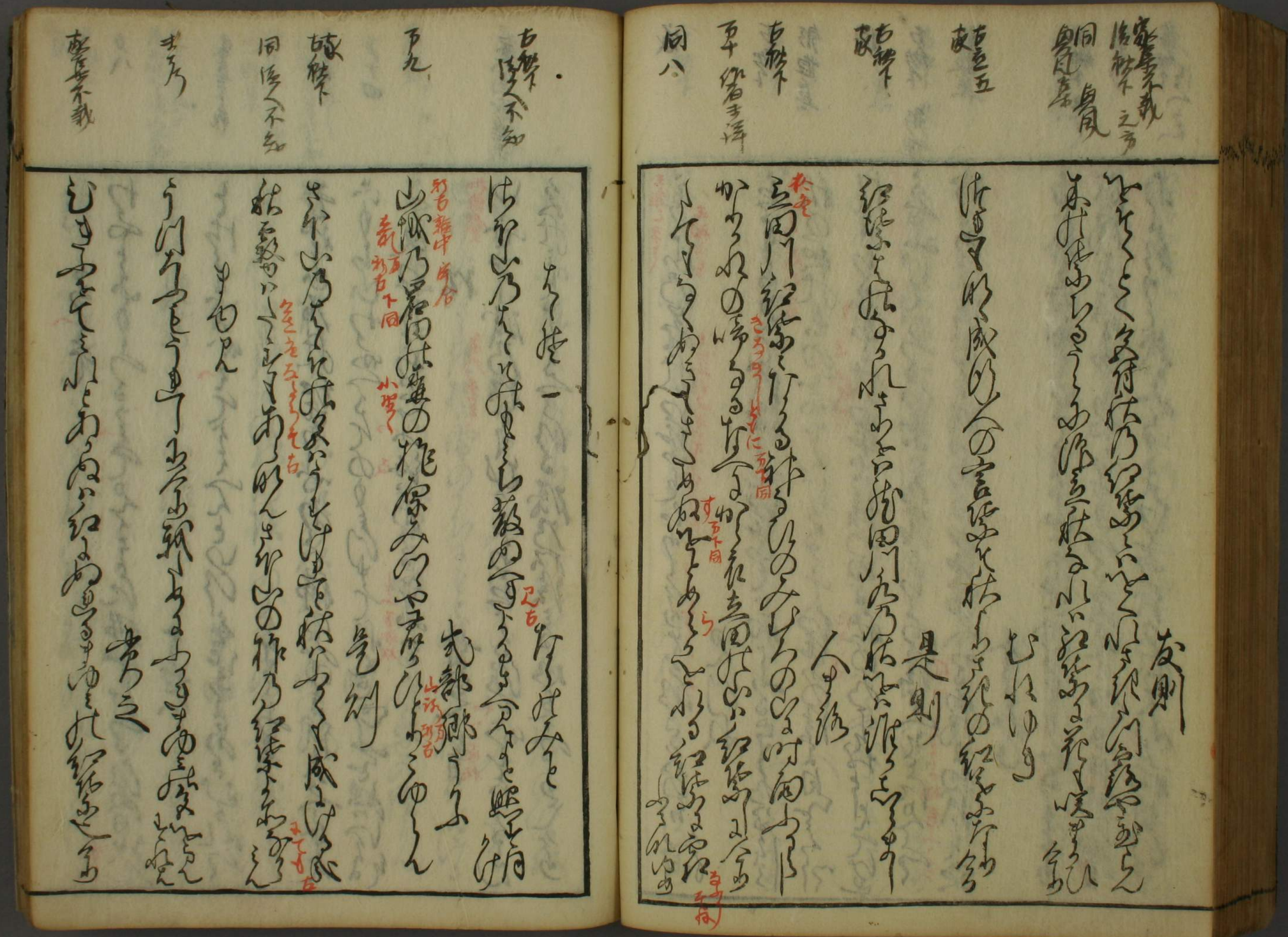
姉小路中納言
きの戸
本
実方
白川紅葉乃義まく初め
貫之土佐

あるもまつ人こそあれ紅葉乃ひかりやみるとてんん
紅葉あるとれるとき時ハ白川のこゝろ秋ハ行らあ
秋紙是く
もとに
ちてちんこあるとて行
みるんハとまるて行ある初の
かりけさ高雄山乃紅葉ハ
もこゝろ
山風乃あきのまあく紅葉
こゝろ
こゝろ
こゝろ

家
同
同
家
後撰下 夏
夏集
後撰下
後撰下
古撰下

家
古撰下
新勅集
同
古撰下 新勅
新勅集
家集 新撰
古撰下 夏
夏
後撰下 注

玉雜 夏
玉 同 夏
旬 夏
見 同
秋の夜 秋
月 秋
たき 秋
たき 秋
見 同
夏
夏
夏



万八

家集不載

書ノ

万十四

三下六首家集不載

作者上書雅仁

後撰

後撰集載し作者下法ノ不知

同作者上 是則 是則集

後撰集不載作者下法ノ不知

古雅上家

わやとみりつるうちに嵯峨にけつ[illegible]

せい

とはるゝ心はかえてくんとのひ[illegible]

[illegible]

[illegible]

百九

家

古今集

夜長不載

書ノ

百十九

家

同

同

夜長

書ノ

夜長不載

兼輔集

家

風光

みよしのの山の白雪つもるらし

ふるさとの吉野の里にふる雪は

みよしのの山かぜさむしころもうつ

なり

兼輔

ちはやぶる

かぜ

ちはやぶる

ちはやぶる

ちはやぶる

家集不載物名

万十五

後春上

古春下

同 家集不載

古春上 家集不載

寓乃とうんなる梅花にのせてうんなる

梅

紙ぬしもていさ紙ての寓れにてうんなる梅花紙なる

国院左近官

たんとさかりよりひつる梅紙梅の花ゆえ紙やとにたちうん

東三條左大臣

寓れりうんなる梅乃花にのせてはうんなるうんとも

貫之

うんとあてとめる梅の花いけの人中み梅ひとうん

わかれ人

今年ハとのうんなる梅の花ちるうんとはいちるうんなる

同 家集不載

同

同

同

古春上 家集不見

梅花にのせる時はうんなるうんなる

梅の花にのせるとうんなるうんなる

梅の香ゆえ紙のうんなる梅の花にのせるうんなる

貫之

紙宿りあるいとうんなる梅の花にのせるあるうんなる

梅

梅のうんなるうんなる白雪の花のうんなるうんなる

於雑春

かうんなるいとうんなる紙宿の梅のうんなるうんなる

人丸

うんなる紙のやうなる梅花多うんなるうんなる

家

同

家

家

後春上

古春上 家

家

後春上

家

古春上

百八

百十

初春上

いつはりなきわが梅の花ぞ

たゞに形容

梅ゝ之方の方へ

たゞ

秋春

ふる雪のなかにはなさく梅の花

ハ

はる

かりそめて散ぬるかぜ梅の花

はる

梅の花ぬしなきかとはるの

はる

月ぬしなきかとみるに梅の花

一

家性

梅の花おもかげ

いハ 後撰

春の

はる

うたてそうたてそうたてそうたてすべてかの方七月の頃

別 梅 春方

昔 日出 時君 遊

昔 紀 奇 價 をうしなひてかうしてかうしてかうしてかうしてすべて

昔 紀 下 梅 岩 天 皇 淑 玉 尔 明 旦 玉 日 出 時 君 遊

玉 玉 正 陽 玉 御 馬 別 玉 大 長 岩 玉 僧 命 記 長 文 長 岩 玉 ゝ 之 御 供 人 赤 宗 麻 呂

生 早 河 白 田 夜 已 暁 既 河 幸 行 梅 遊 乃 進 馬 出 行 不 待 文 長 行 玉 し 此 行 人 等 白 宇 多 色 物

云 宇 多 色 云 故 鹿 映 水 直 堅 御 角 ゝ ゝ は 宇 多 色 也 又

昔 皆 以 言 故 鹿 映 水 直 堅 御 角 ゝ ゝ は 宇 多 色 也 又

昔 紀 乃 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

はる

梅の花おもかげ

後春上

いとせ

梅の花

はる

梅の花

はる

梅の花

はる

題しらず　　為忠

紅葉の色にまがふ梅の花ぬれてやうつる春の雨

題しらず　　為忠

梅の花ぬれてやうつる春の雨

題しらず　　為忠

梅の花ぬれてやうつる春の雨

題しらず　　為忠

後春中 侍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家

後春下

家

同

家集不載

家

家集編々

後春下

古春下

家集不載

家

寄方

家集不載

同

古春上

同春下

二百家集

みのね六首

家 古春下 法人不知

家 古春下 義均法師

家 古春下

同春上

同春下

同要下

よそにのみちりてとまる梅の花はるかぜ

知れり

いさ梅ぬしもしらん人さきあれば人ぞとまれる

梅ぬし

みくまのの人なかりせん梅花をたれにかはせん

さかりなりけり

梅ぬしをたれかはしらん春のいろをたれにかはせん

春のこころ

ちりぬ花ちりぬとをしむ古人のまてばかりは

ちりやはる

まちぬるかなみくまのの梅ぬしをたれにかはせん

同

同

同

同春上 家 月日

春上 家

よるのなかれ

すのかすよ

梅ぬし

梅花をたれにかはせん

伊勢

いな

みる人をたれにかはせん梅花のかをしらん後をたれ

梅ぬしをたれにかはせん

同

古春上 伊勢物語

万年寺 不載

同 古春上 不載

同 伊勢物語 廣 ちくま日記 万十六 まつ

風さえて花なき春の雪ふれば
花みるまとはかへりてぞ思ふ
今のみと思へば雪も降りぬれば
花と見まがふ人もあらなん
櫻花散りぬる時ぞ人待つ
春雨降りぬる時ぞ人待つ
世中は絶て櫻のなかりせば
いとどかすみの心のどけさ
いとどかすみの心のどけさ
春雨はあはれ花をぬらすなと
春雨はあはれ花をぬらすなと

古物語 廣

廣 まつ

同 まつ

まつ

古春上 不載

かつらの川の波のうへ
かつらの川の波のうへ
花櫻いとゝ人のおもひそめ
花櫻いとゝ人のおもひそめ
花櫻今はちるとも心さく
花櫻今はちるとも心さく
ひとゝふる櫻のあはれ
ひとゝふる櫻のあはれ
櫻花咲ぬる時ぞ人待つ
櫻花咲ぬる時ぞ人待つ

春下

同 三首 家長朝臣

春上

春下

同 家

春下 俊成 万八 赤人

適明

春中

書ノ

古文

戸八

同 在家

同 絹磨

書ノ

夏之部

家

同

同

家集不載

同

古春下 家集不載

[illegible]

[illegible]

[illegible]

春下 家

宗長 後春下 後人不知 伊勢集

百五

家

同

寄草

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五十

万七 作者未詳

同十四

十六

万七 下椿立花

夏歌前歌

万十

同

考

万十

同七

同十九

万十九

古物変花 焚く

古物名

山たち

世中はしらぬもいはこそとはいはぬもむ山ぞ此

も

我宿のさくら花の下に月はうつろふらんうつろひやすし我宿のさくら花の散てのちはやさ

春ぬれば木のこれかしこ花さかりにほひ

もそ

やまち

わすれぐさ

わすれぐさ

今いくかしてかはいとはしかりけ

かく

桃

あやめ

あやめ

物名

山たち

和名云 橋子陸詞切韻云 青詩名 夜未家云

人丸

山海石榴

万十同

万十

万十

万十

家

古雅ト侍ル不知
[illegible]

家

寄

五十

同九

同十四 [illegible]

八

五十

五十五帖 [illegible]

同十五

五十

古賀

家

五十七

侍従上京し

下四 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

百
同
安嘉門義
百
同
百十
後雅三 俊恒集
後雅三 俊恒集 後撰集

百四
百七
上石榴毛
同一
同五
同二十

[illegible]
[illegible]
[illegible]

万二十
同十六
故雅上
法不知
万九
同
寄
寄

いるひとあるかそのとをあはれとおもふ
なるこころをしてかくはしてとあやかりて
あるとあるこころをしてもとかはいとのこころをもとうし
かしかしこ
僧恵行
秋せこをはけくもとるほとうとあるうあるあとをもふ
すすきのとをしてみよくしてやうやうとの酒のをとしてこのかしこ
なりあかしこ
人をみるちらあかしこいたをのとうあのそをとをくをうし
射布所
やうやう
むらさきのかくしてほとのはいあるあれ

万九 猶書詠
寄
万七
寄
万十一
同十
万七

人丸
はるのをとはなとはなとはな

主房

引まゝにくるまのあとをしたふらん
なきをつたへし人のこゝろを

百二十

おくやまの花のなごりをたれかまた
ふるさとにしのぶ人しなん

百十

同

ほとゝぎす
なくこゑにこそ
ふるさとの
ゆめをさ
ましぬ

百九

同

ほとゝぎす
なくこゑにこそ
ふるさとの
ゆめをさ
ましぬ

同十一

主房

ほとゝぎす
なくこゑにこそ
ふるさとの
ゆめをさ
ましぬ

百十四

ほとゝぎす
なくこゑにこそ
ふるさとの
ゆめをさ
ましぬ

百十九

ほとゝぎす
なくこゑにこそ
ふるさとの
ゆめをさ
ましぬ

同

ほとゝぎす
なくこゑにこそ
ふるさとの
ゆめをさ
ましぬ

百十

万二
[illegible]不知
[illegible]

万七
[illegible]

万十
[illegible]

[illegible]

家集未載
[illegible]
同
[illegible]
家
同
[illegible]上 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

波

家

寄

戸十

同十五

寄

戸六

むすびてゆく河の川波のうへにうきてゆくなる

貫之

子とせまて食しまてる雲のなれ雲のいとこ

いせ

あつとはるゝ春はあれ川のとけ氷はゆるやさしくこそ

たゝ波のこゝろ波やさしくこそ

あまの家はあらつまてさゝ川の波のうへにしもまさる

たつたゝ川ゝ紅葉の錦なりけり

あし川のすむ波ゝ春の霞のおれはんこゝろ

さのまくら

人丸

後古雜中

わかれ濃は恋しくしたゝ川波

同十 偖き詳

芦田鶴乃ゝ

人丸

吃たゝ

人をとこ

白雪の

かゝり

古雜

法不知

いとゝやゝ

白雪の

人丸

三首

同法不知

寄

戸十 偖き詳

芦

白雪の

秋

古秋上

芦戸

百八

同 俱馬皇女

主殿

後撰下 柔し 家集不載

家

後撰下 後不知 家集不載

後撰下 後不知 家集不載

古歌上 躬恒 家集不載

躬恒集

後撰上 躬恒 家集不載

同 躬恒

同 躬恒

同 躬恒

後撰下 躬恒 家集不載

後撰下 後不知 家集不載

後撰下 後不知 家集不載

躬恒集

古歌上 躬恒

同 躬恒

同 躬恒

後撰下 後不知 家集不載

後撰下 後不知 家集不載

躬恒集

古歌上 躬恒

家

古歌上

万十九

[illegible]

同

[illegible]

同八

万十

[illegible]

同八

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古春上
家

古春上

後春上
法へ不知

同春中

古春下 素性集

古春上
法へ不知

同雖体 敏行集

後春上
法へ不知

古春上

同

同

同

同

千里

梅の花 殺てみるへき雪の降てはなくとも
ちるかとも

行ちらす 風にはあらぬ 雪なれは
ぬ後

雪ならぬ 花の散ぬる 春の日に
ちる

二條のきさき

梅ゝえふまてゝ雪ふりてゝ雪ふりて
ひとり花のみ咲てゝ雪ふりて
雪乃なかつる春のさくらの花
新宿よりゝ雪ふりて

雪ならぬ 花の散ぬる 春の日に
ちる

雪ならぬ 花の散ぬる 春の日に
ちる

雪ならぬ 花の散ぬる 春の日に
ちる

雪ならぬ 花の散ぬる 春の日に
ちる

寺方
同
万八
同 刀禰皇子
同 石上堅魚
同
同
同

かくまきて
紅葉みとうらの時鳥いくこゑまでかくれなくらむ
知らぬ君みとうらの郭公こゑ聞かずとてなほ
武士のいくせ世代家乃時鳥今もなほなほ
時鳥きこゑぬとてやあらまほしいまは
久し知
さら紅のこゑ聞かるる宝井時鳥好きこゑつなくはしを
新宿よ月とてあかめ時鳥心あるこゑきかるるとてなる

同
同九
同
万八
同
古文書
柴方
柴し集
古文書

あとをけきき君ハまきと時鳥ふるこゑ新戸あるく
かまきてこゑ雨はあるよ時鳥帰てゐねあの新そのきあ
大伴のよりか
くあ井ひろるハ
家よまてちあ家かくむ宮殿のひかりまを行よ船
時鳥紀こゑ聞の校よあてなくいはれ人やこゑきき
秋るものいくせ世の社乃時鳥なくこゑ聞いつるまれん
夏井家のみそとすまこゑ新とさ月のむよあのあ
沢雲みいるるるこゑ郭公亭一行よあるあを
世月面の宮さら行時鳥なあこゑとこゑ帰ん

家
同
家
同
後文
同
詞文三首
伊勢集
後文 伊勢
新拾集

[illegible]

以上七首

貫之

伊勢 三首

[illegible]

古文
同家
同家
同同
同家

[illegible]

同

同上家長歌

家

古文

同

家

古文

同

家

古文

古文

家

古文

古文

古文

友則集

三十九

三十一

三十二

同

三十四

同

三十五

同八

古春上 詠人不知

後春中

三十八

同九 作者未詳

英し集

[illegible]

[illegible]

[illegible]

万十

寛五不知

書ノ

同

同

万十九

万七

書ノ

同

万十

万十

書ノ

同

同

万十

冥三書ノ

万十

朔日の山ちかく潮さす所なる宿にあるに

上ノ書

腦乃時の秋くれ百姓くれ君ちかく紙をかきて

あさとくみさとくかくとくらの時のそこにてちかくあるに紙

曉より秋くの時のうちにかきてちかくあるに

あつまれる時乃ちかく百姓くまかく集りて例ちかく

けるまけくに紙をかきて秋のくれの時雨ふる

かくて

曉とかくすると猶乃猶のこいまさりにけり

夜れぬのおとちかくそなたさそうて時雨ふる

朔日にそいてくれる紙背にかきけの姿くしかれて

かくとそかくれたまきてあ君をとくれ

海島

そとく海やゆくれの葉れ海島とあくとあ

ゆきまる波の門せるとくれてなりあ百姓

もくるゆるれ葉より海島のやくれもあ

くるる

みやまあよ海にまてかくとくれ海にあけ海くと紙を

まくくて海にまくくく

同

[illegible]

[illegible]

百十

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]